

平成 18・19 年度 目黒区教育委員会教育開発指定校

研究主題

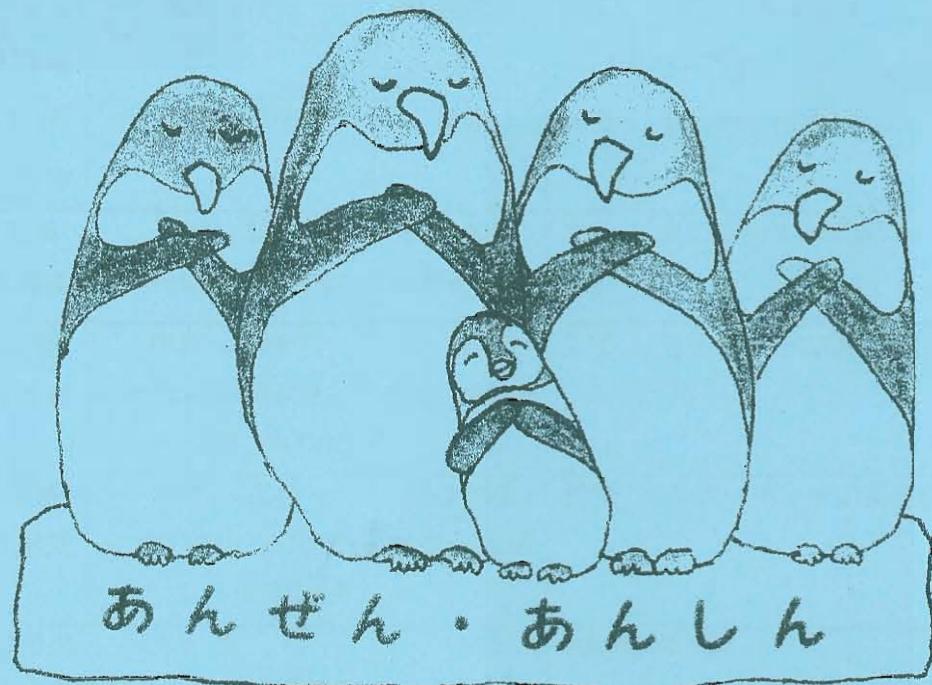
わが街五本木 地域ぐるみの学校安全

～自他の生命を尊重し、安全に生活できる児童の育成～

研究発表会指導案

五本木小安全チェックリスト

学校安全年間指導計画



平成 20 年 1 月 18 日

目黒区立五本木小学校

公開授業

学年・組	場所	指導者名	教科	内容
1-1	教室 2階北	末栖 雅彦	学級活動	生活 「こんなとき どうする」
1-2	教室 2階北	八木 亜矢子 GT 危機管理対策アドバイザー 園崎 健江先生	道徳	災害 「なまず大王の大じしん」 NHK 教育『ざわざわ森のがんこちゃん』より
2-1	教室 2階北	大波多 美穂 GT 目黒警察署 渡邊 満先生	学級活動	交通 「まもろうね 交通ルール」
2-2	教室 2階北	相庭 朋子 TT 山根 高幹	学級活動	生活 「ひとりで おるすばん」
3-1	教室 3階北	竹内 千晶 TT 養護教諭 清水 優子	総合的な 学習の時間	生活 「今日からできる 安全」
4-1	ミーティングルーム 3階南	岸本 博和	学級活動	生活 セカンドステップ 「さえぎる人に気を取られないで、集中して話を聴こう」
4-2	教室 3階北	神吉 幸子	道徳	災害 「まさか 自分が…」
5-1	教室 3階南	高塚 純一 TT 学校栄養職員 三浦恵理子	総合的な 学習の時間	食 「食の安全を考えよう」
6-1	教室 3階南	西島 能婦子 GT 東京大学特任教授 笠原 敬司先生	総合的な 学習の時間	災害 「守る命！その時、何ができる」
6-2	教室 3階南	和田 正典 GT クライシスインテリジェンス代表 浅利眞先生	総合的な 学習の時間	情報「インターネットの安全な利用の仕方」
通級学級 ゆりのき	ゆりの き学級 1階南	ゆりのき学級全教職員	自立活動	模擬授業 生活 「あったか言葉・チクチク言葉」

こんなときどうする

1組 21名 指導者 末栖 雅彦

1 題材設定の理由

(1) 題材について

1年生の時から、防犯の意識を高めることは大切である。現在は、予想もつかないような巧みな手口で子どもに声をかけてくるので、実際にどのような場面が想定されるのかを考えて行動できる子どもに育てていきたい。特に、登下校では、児童が一人で歩く場合があり、低学年は、男女を問わず誘拐などの対象にされてしまうことがある。学校では、集団下校を実施し、短い時間に集団で下校するように努めているが、家に着くまで安全であるとは言えない状況がある。

そのためには、予測可能な危険への対処策を事前に指導する必要がある。寄り道をしない、車には近づかない、何かあったら大声を出すなど、自分でできる危機回避を知ることが大事である。しかし、不審者側の立場から見て、どのような児童を対象にしようとするのか、なぜ車を使って誘拐をしようとするのかを知ることも重要である。そして、保護者にも学習内容を伝えると共に、学校では危機を回避する力を身に付けさせるために、計画的に学習していく機会をつくりていきたい。

(2) 児童の実態

隣接校選択制度の実施で、区域外からの通学もあり、在籍校の児童の住まいは広範囲に渡っている。一昨年度から集団下校を実施し、通学路点検もしてきたが、一人で歩く場面もあるので、危険は点在している。

運動会では、非常に備える意識を高めるために「災害用伝言ダイヤル171」の表現運動に取り組んだことや、7月に防犯教育プログラムの授業を受けたことで、「知らない人には付いていかない」、「何かあったら大声を出す」をキーワードに、安全に対する意識を高めてきた。

児童は、素直に話を聞き、命を守ることの大切さもよく考えている。しかし実際の生活でどれだけ学習したことが生かせるかが大切である。登下校では、信号がない横断歩道を渡るときに、左右を確認できていないことがあった。また、寄り道をして家に帰る時刻が遅くなったりすることもあった。学校や学級では、日々安全に関心をもたせ、行動できるように指導しているが、十分に実生活で生かせているとは言えない面も、まだ見られる。

2 本時の学習

(1) ねらい

○下校時に起こる危険を想定し、誘拐されないようにするためにどうすればよいかを話し合い、安全な生活が送れるようにする。

○不審者対応訓練を通して、実際の危険な場面でも危険を回避するための方法を知る。

(2) 展開

学習活動	支援 (○) 評価 (★) 留意点 (・)
<p>1 「イカのおすし」の標語について学んだことを想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない人にはついていかないよ。 ・大声を出して逃げるよ。 <p>2 下校時に起る危険について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車が走っているから気を付けるよ ・知らない人から誘われるかもしれない。 ・転んで怪我をするかもしれない。 	<p>○イカのおすしの曲を歌うことで、学習への意欲を高めさせる。 ★意欲をもって学習に取り組んでいる。 [関心・意欲・態度]</p> <p>★下校時の危険について学んできたことを思い出している。 [知識・理解]</p>
下校する時に声をかけてきたら、どうするか考える	
<p>3 ビデオの事例を見る。</p> <p>○クイズに答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車に乗せてもらう。 ②車に乗らない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">車にのらない</div> <p>○どこがよくなかったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車に近づいていた。 ・白線をこして歩いていた。 ・寄り道していたよ <p>4 ビデオの続きを見る。</p> <p>○子どもの行動の中で前と比べてどこがよくなかったかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車に近づかなかった。 ・ちゃんと誘いを断ったよ。 ・寄り道しなかった。 ・車と逆方向に逃げたよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">よりみちはしない。 車にちかづかない。 車とぎやくほうこうににげる。</div> <p>○誘拐する人はなぜ車を使うことが多いのか考える。</p> <p>5 不審者対応訓練で実際に車てきた不審者にどう対処したらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①男性が車で近づいてきた場合 <ul style="list-style-type: none"> ・車に近づかないように歩こう。 ・逆方向に逃げなきゃ。 ②怪我を装った女性が近づいてきた場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ちゃんと断ろう。 ・近づかないようにしよう。 <p>6 もし車から不審者が追いかけてきたらどうするか、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ごえをだすよ。 ・逃げるよ。 ・防犯ブザーをならすよ。 ・知っている人に助けをもとめるよ。 <p>7 防犯ブザーの使い方を確かめる。</p>	<p>[資料 NHK教育 「こんなときどうする」]</p> <p>○予め、登場する児童の行動をよく観察するように伝える。</p> <p>★ビデオに出てくる児童は道草をしたり、車に近寄ったりなど、不審者にねらわれやすい行動をとっていることに気付いている。 [思考・判断]</p> <p>・先程の行動よりもよくなった子どもの様子を観察させる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>★寄り道はしない。車には近づかない。車と逆の方向に逃げることの大切さに気付いている。 [思考・判断]</p> <p>・防犯プログラムの学習を思い出させる。</p> <p>○不審者はなぜ車に乗せようとするのかを考えさせる。</p> <p>○不審者役で保護者に登場してもらい、知り合いを装い、誘拐しようとする場面を演じてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帽子、ランドセルを用意しておく。 <p>★ ビデオで学んだ約束を不審者対応訓練の中で実践している。 [表現・処理]</p> <p>★襲われそうになった時に何をすべきか気付くことができる。 [知識・理解]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯ブザーの付け方、遊びに行く時も身に付けるよう話す。

なまず大臣の大じしん

(ざわざわ森のがんこちゃん)

2組 19名 指導者 八木 亜矢子
ゲストティーチャー

危機管理アドバイザー 国崎 信江先生

1 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

人は生まれたときから、様々な人とかかわり、人々に支えられながら生活している。成長に伴って自分でできることが増えてくると、自分中心の世界が広がって、いつの間にか自分を温かく支えてくれる人々のことを忘れてしまうこともある。

互いに相手を思いやりながら生活していくことは人として生きていく上でとても大切なことである。さらに、そうした思いやりの気持ちを親切という態度に示していくことは、互いに喜びや心地よさをもたらし、自分たちが生きる社会や人生をより豊かで価値あるものとすることができます。

ここでは、児童に親しみのある資料「ざわざわ森のがんこちゃん」から、災害時に助け合うざわざわ森の動物たちの様子を映像で知る。そこで、相手を思いやる気持ちの大切さや助け合うとお互いが嬉しい気持ちになることに気付かせたい。そのことが、日々の安全な生活の基盤であると考え、この主題を設定した。

(2) 児童の実態

入学してから10ヶ月近く経ち、学校生活にも慣れてきた。苦手なことに一生懸命取り組んだり、がんばっている友達を応援したり、困っている友達に優しく声かけをしたりと自分のことだけではなく、友達のことにも目をむけ、優しい気持ちで接することができるようになってきている。

毎月水曜日の「おはようタイム」は、隔週で保護者が読み聞かせに来校し、子どもたちはお話を聞くのが大好きである。読書好きな子も多く、わずかな時間を見つければ、本を読んでいる姿をよく見かける。

道徳では、「はしのうえのおおかみ」や「ぼくにできること」で誰にでも優しい気持ちで接することの大切さに気付いた。そして、小さな優しさでも、親切にした人とされた人の両方が幸せな気持ちになることを日常生活からも実感する学習をしてきた。

9月22日の『防災フェスタ in 五本木』では、「ひなんリュックをつくろう」で災害安全の学習を保護者参加型で行った。地震についての動機付けはできていると思う。

2 資料について

「ざわざわ森のがんこちゃん」は、NHK教育テレビで放送されている1年生向けの道徳教材である。本資料は、防災の学習用として特別に作られたものだ。「地震時にどう行動すればよいか」「地震の後には津波が来る」など資料の中には、1年生でもわかりやすく地震について学習できる工夫が組み込まれている。

今回は、その中からがんこちゃんの気持ちを考える活動を通して、一人一人が親切な気持ちをもつと、助け合いの輪ができるということに視点を置いて見ていきたい。

2 本時の学習

(1) ねらい

○身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする態度を養う。

(2) 展開

	学習活動	支援 (○) 評価 (★) 留意点 (・)
導入	1 VTR 「なまず大王の大じしん」を見せる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 震災時に人に親切にしたり、助け合ったりする気持ちをもとう。 </div>	
展開前段	2 「なまず大王の大じしん」を見て話し合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ●スコープ先生やおばあさんが教えてくれた地震の時に大切なことを確認しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震はいつ起こるか分からない。 ・地震が起きたら、外に出てはいけない。 ●家族や学校の友達に心配してもらったがんこちゃんの気持ちを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんな、やさしいね。ありがとう。 ・もうけがをしないようにしよう。 ・心配してくれてうれしいよ。 ・みんながけがしたときは、やさしくしよう。 ●ざわざわ森を元に戻そうとがんばるがんこちゃんたちの気持ちを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで、協力して元どおりにするぞ。 ・ざわざわ森のために、みんなでがんばるぞ。 ・自分にもできことがあるんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の感じた様々な声を吹き出しにして、板書する。 ・場面が再現しやすいように、黒板に絵をはる。 ・親切にした人の気持ちに気付かないことは、悲しいことだということに気付かせたい。 ○がんこちゃん役と親切にする仲間役で、場面を劇化し、がんこちゃんの気持ちを考えやすくなる。 ・場面のセリフにこだわらず、けがをした家族や友達にどんな言葉をかけるか考えさせる。 ・親切にすると、すがすがしい気持ちになることに気付かせたい。 ・みんなが自分のことだけでなく、相手や周りのことを考えられるようになると、助け合いの心が生まれることに気付かせたい。 <p>★身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとしている。</p> <p>[資料 NHK 教育「ナマズ大王の大じしん」]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人に親切にすると、助け合いが生まれ、みんなが幸せな気持ちになることを伝えたい。 ・自由に感想を言える場づくりをする。
後段	3 国崎先生に、震災後助け合っている人たちの話を聞く。 4 本時の授業で、気付いたことやわかったことを発表する。 5 親切にした経験を発表する。親切にするとどんな気持ちになるか。 <ul style="list-style-type: none"> ・お家の人が忙しいときに、弟（妹）のおもりをしている。 ・泣いている友だちをなぐさめた。 ・落ちている消しゴムを拾ってあげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童から出ない場合は、クラスで見つけた親切を事例として出す。 ・これからも、親切にしようという心が育つように、話を。 <p>★身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から、親切にすることは自分のみならず互いにうれしいことだと感じられるような話をする。
終末	6 教師の説話	

まもうね 交通ルール

1組 24名 指導者 大波多 美穂

ゲストティーチャー

目黒警察署 渡邊 満

1 題材設定の理由

(1) 題材について

学級では、防災（地震がおきたら）・生活安全（掃除の時間のルール、遊びの時間のルール）で安全にかかわる授業に取組んできた。防災の授業では、地震が起きたときの身の守り方を知り、家族とはぐれてしまった時の待ち合わせ場所を家族で考えることができた。生活安全の授業では、ルールを守ることが安全につながることを学習した。安全に生活することの大切さが少しづつ理解できるようになってきている。

今は、自転車を自由に乗り回している児童は少ない。7月のアンケートでも「自転車は正しい乗り方をしている」という項目は、約99パーセントだった。しかし今後、行動範囲が広がり、事故に遭遇する可能性も考えられる。交通事故を防ぐためにも、ルールを守ることが安全につながることをしっかりと確認させたい。また、ルールを守ることは、自分の命だけでなく、まわりの人の安全も守っていることを知るきっかけになるようにと本題材を設定した。

(2) 児童の実態

明るく活発な児童が多い。遊びの時間や勉強時間も一生懸命である。勉強中は挙手が多く、人の意見も素直に聞くことができる。やることが分からなくて困っている友達がいると、自分から寄つていって教えている姿もよく見かける。掃除は、安全の学習をした途端、上手に、スムーズに、安全にできるようになった。

放課後、自転車を一人で乗っている児童は数名である。その児童達は、動範囲も広く、一時停止の場所もスピードを出して突き進んでいる姿を何回も見かけている。夜が長い冬も、暗い中を自転車で自宅に向かっているようだ。2年生は、保護者と決めた場所のみを自転車で行動する、帰宅は明るい間にと話し合った。今後も児童が交通事故にあわないよう保護者と協力していきたい。

2 指導計画（2時間）

時	学習活動	支援（○）評価（★）
1	まもうね 交通ルール ○とび出しの危険 ○遊び場の危険 ○信号機の見方。	○交通安全クイズを楽しみながら、交通ルールを理解させる。 （『スパーといっしょに まもうね こうつうルール』警察庁交通局企画ビデオ） ★ルールを守ることが安全につながることを理解する。
2 (本時)	まもうね 交通ルール ○自転車の危険 ○自転車の正しい乗り方 ○道路標識って、なに？	○クイズを楽しみながら、必要な道路標識の意味を理解させる。 （ピーポくんと楽しく学ぶ） ★自転車の安全な乗り方は自分はもちろん、多くの人の安全にもつながることを知る。

2 本時の学習

(1) ねらい

○身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする態度を養う。

(2) 展開

	学習活動	支援 (○) 評価 (★) 留意点 (・)
導入	<p>1 VTR 「なまず大王の大じしん」を見せる。 </p> <p>震災時に人に親切にしたり、助け合ったりする気持ちをもとう。</p>	
展開前段	<p>2 「なまず大王の大じしん」を見て話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スコープ先生やおばあさんが教えてくれた地震の時に大切なことを確認しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震はいつ起こるか分からない。 ・地震が起きたら、外に出てはいけない。 ●家族や学校の友達に心配してもらったがんちゃんの気持ちを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんな、やさしいね。ありがとう。 ・もうけがをしないようにしよう。 ・心配してくれてうれしいよ。 ・みんながけがしたときは、やさしくしよう。 ●ざわざわ森を元に戻そうとがんばるがんちゃんたちの気持ちを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで、協力して元どおりにするぞ。 ・ざわざわ森のために、みんなでがんばるぞ。 ・自分にもできことがあるんだ。 	<p>○児童の感じた様々な声を吹き出しにして、板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面が再現しやすいように、黒板に絵をはる。 ・親切にした人の気持ちに気付かないことは、悲しいことだということに気付かせたい。 <p>○がんこちゃん役と親切にする仲間役で、場面を劇化し、がんこちゃんの気持ちを考えやすくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面のセリフにこだわらず、けがをした家族や友達にどんな言葉をかけるか考えさせる。 ・親切にすると、すがすがしい気持ちになることに気付かせたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが自分のことだけでなく、相手や周りのことを考えられるようになると、助け合いの心が生まれることに気付かせたい。 <p>★身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとしている。</p> <p>[資料 NHK 教育「ナマズ大王の大じしん」]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人に親切にすると、助け合いが生まれ、みんなが幸せな気持ちになることを伝えたい。 ・自由に感想を言える場づくりをする。
後段	<p>3 国崎先生に、震災後助け合っている人たちの話を聞く。</p> <p>4 本時の授業で、気付いたことやわかったことを発表する。</p> <p>5 親切にした経験を発表する。親切にするとどんな気持ちになるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お家の人が忙しいときに、弟（妹）のおもりりをしている。 ・泣いている友だちをなぐさめた。 ・落ちている消しゴムを拾ってあげた。 	<p>○児童から出ない場合は、クラスで見つけた親切を事例として出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも、親切にしようという心が育つように、話を。 <p>★身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとしている。</p>
終末	<p>6 教師の説話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から、親切にすることは自分のみならず互いにうれしいことだと感じられるような話をする。

まもうね 交通ルール

1組 24名 指導者 大波多 美穂

ゲストティーチャー

目黒警察署 渡邊 満

1 題材設定の理由

(1) 題材について

学級では、防災（地震がおきたら）・生活安全（掃除の時間のルール、遊びの時間のルール）で安全にかかわる授業に取組んできた。防災の授業では、地震が起きたときの身の守り方を知り、家族とはぐれてしまった時の待ち合わせ場所を家族で考えることができた。生活安全の授業では、ルールを守ることが安全につながることを学習した。安全に生活することの大切さが少しづつ理解できるようになってきている。

今は、自転車を自由に乗り回している児童は少ない。7月のアンケートでも「自転車は正しい乗り方をしている」という項目は、約99パーセントだった。しかし今後、行動範囲が広がり、事故に遭遇する可能性も考えられる。交通事故を防ぐためにも、ルールを守ることが安全につながることをしっかりと確認させたい。また、ルールを守ることは、自分の命だけでなく、まわりの人の安全も守っていることを知るきっかけになるようにと本題材を設定した。

(2) 児童の実態

明るく活発な児童が多い。遊びの時間や勉強時間も一生懸命である。勉強中は挙手が多く、人の意見も素直に聞くことができる。やることが分からなくて困っている友達がいると、自分から寄つていって教えている姿もよく見かける。掃除は、安全の学習をした途端、上手に、スムーズに、安全にできるようになった。

放課後、自転車を一人で乗っている児童は数名である。その児童達は、動範囲も広く、一時停止の場所もスピードを出して突き進んでいる姿を何回も見かけている。夜が長い冬も、暗い中を自転車で自宅に向かっているようだ。2年生は、保護者と決めた場所のみを自転車で行動する、帰宅は明るい間にと話し合った。今後も児童が交通事故にあわないよう保護者と協力していきたい。

2 指導計画（2時間）

時	学習活動	支援（○）評価（★）
1	まもうね 交通ルール ○とび出しの危険 ○遊び場の危険 ○信号機の見方。	○交通安全クイズを楽しみながら、交通ルールを理解させる。 （『スプーといっしょに まもうね こうつうルール』警察庁交通局企画ビデオ） ★ルールを守ることが安全につながることを理解する。
2 (本時)	まもうね 交通ルール ○自転車の危険 ○自転車の正しい乗り方 ○道路標識って、なあに？	○クイズを楽しみながら、必要な道路標識の意味を理解させる。 （ピーくんと楽しく学ぶ） ★自転車の安全な乗り方は自分はもちろん、多くの人の安全にもつながることを知る。

3 本時の学習（2／2）

（1）ねらい

○正しい自転車の乗り方を確認し、ルールを守ることは安全につながることを知る。

（2）展開

学習活動	支援（○）評価（★）留意点（・）
1 前時に学習したことを振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・とび出しの危険 ・遊び場の危険 ・信号機の見方 	○交通ルールを守ることが、自分の命を守ることにつながることを思い出させる。 
2 自転車の危険について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・混雑したところでは乗らない ・スピードを出さない ・乗り方に気を付ける 	○乗ってはいけない場所、危険な乗り方について考えさせる。 ・日頃の自分の自転車の乗り方を思い出させる。 ・2年生は、決められた場所でのみ乗るようにする。 ★自転車の危険について、考えている。【思考・判断】

安全な自転車の乗り方について考えてみよう

3 自転車の正しい乗り方について知る。	○乗る前 <ul style="list-style-type: none"> ・からだに合った大きさ ・点検 乗り下り <ul style="list-style-type: none"> ・常に止まっている時に、左から ・歩車道の区別がある歩道は、安全を確認して車道側を走る。 ・歩車道の区別がない道路は、右側を押して歩く。 ・横断歩道は、押して歩く。 ★自転車の正しい乗り方が安全につながることを知る。 【知識・理解】
	○道路標識を知ることで、より安全につながることを意識するようとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・学区にある道路標識を撮影し、教材化する。 ・ゲストティーチャー、ピーくんとクイズを楽しむ。 ★楽しんでクイズに参加している。 【関心・意欲】
4 道路標識って、なあに？	
5 本時に学習したことを振り返る。	○標識を意識し、より安全に生活できるよう促す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守ることは、自分だけではなく、多くの人の安全も守ることに気付かせる。 ・今日学習したことが明日からの生活に生かされるようにする。

ひとりで あるすばん

2組 24名 指導者 相庭 朋子
TT 山根 高幹

1 題材設定の理由

(1) 題材について

「一人にならない」ことは不審者から身を守る上で最も大切なことである。登下校の際の安全についての指導を繰り返してきた。しかし、今後、学年が上がるにつれて家で一人になることも多くなってくるであろう。留守番の時に電話がかかってきたり、宅配便の人が連絡をしてきたりして一人で対応しなければならない場面が増えてくる。そのために、危機回避の方法と本当に用事があった人に対しても失礼がないような対応ができるように指導していきたい。

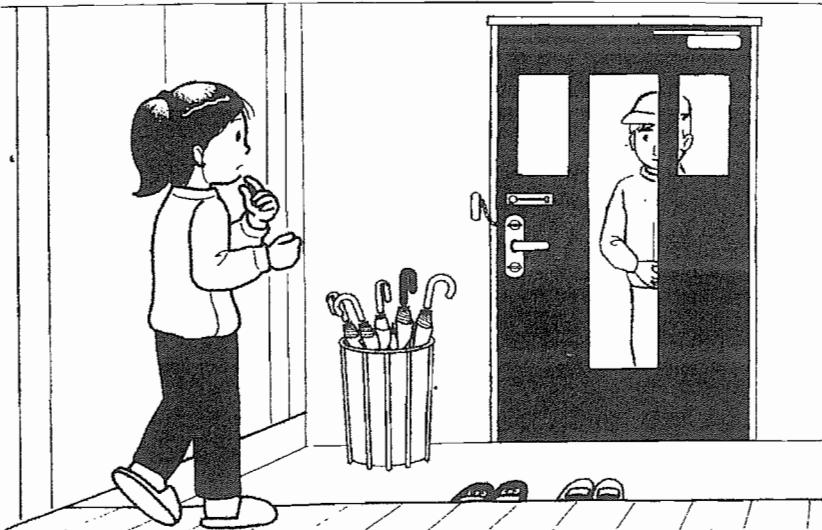
また、この学習を通して、一人での留守番や突然の訪問者への対応について、ぜひ家族と話し合う機会にして欲しいと願い、この題材を設定した。

(2) 児童の実態

2年生は「安全」に対する意識がまだまだ低く、他の人から守られているという存在である。これまでに学習してきた交通安全については、意識も高まり、安全に気を付けて行動できるようになってきている。さらに、防犯意識を高めるためには、子どもだけで留守番をすることは、できるだけ避けたいが、「電話には出ない」や「絶対にドアを開けない」などを念頭に、危機回避の方法も指導していきたい。

また、保護者にも学習内容を知らせ、実際に家庭でも事例を設定し、危機回避の方法を話し合ったり、練習したりしていくことの大切さを促していく機会としたい。

15. ひとりでるすばんしているときには人が来てもドアを開けない



【資料】

ビジュアルカード 『小学校安全教育教材 身につけよう私たちの防犯』 全教図
DVD 『こんなときどうする？犯罪・不審者から身を守ろう』 コンテクスト

2 本時の学習

(1) ねらい

○一人で留守番をしているときには、人が来てもドアを開けないことが安全であることを理解するようにする。

(2) 展開

学習活動	支援 (○) 評価 (★) 留意点 (・)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>留守番をした時に、ひやっとしたことはないだろうか。</p> <p>留守番をするときに注意していることはどんなことだろう。</p>	<p>○一人で留守番をした時の経験を思い出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の家庭の状況に配慮する。 <p>★本時の課題について考えている。 【感心・意欲】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">留守番をしている時に、危険に合わないためにはどうしたらよいのだろう。</p>
<p>2 2つの場面を設定して、危機回避のための行動について話し合う。</p> <p>①誰もいない家に帰ったとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵は直前に出します。 ・鍵を出すときに周りを確認するよ。 ・誰もいなくても「ただいま」と言う。 ・保護者がいない時は誰も入れないよ。 <p>②宅配便がきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドアを開けて、すぐ荷物を受け取る。 ・チャイムが鳴っても出ないよ。 ・いつもチェーンがかかっているよ。 	<p>○場面ごとに資料を用意し、安全を考えて行動する児童とそうでない児童を比較させる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・一人でいることをわからせない注意が必要であること。安全な対策の仕方を考えさせる。 <p>★留守番の時も安全を第一にした行動を考えている。</p> <p>【知識・理解】</p>
<p>3 DVD『こんなときどうする？犯罪・不審者から身を守ろう』を見て、確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドアを開けてしまった場合を見る。 	<p>○DVDを用意する。</p>
<p>4 本時の学習を振り返り、感じたことや分かったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全第一だが、相手に失礼がないよう配慮も考えさせる。 <p>★留守番をしている時に一人でいることを気付かせない方法を考えている。</p> <p>【思考・判断】</p>

今日からできる安全

1組 24名
T. T指導者 竹内 千晶
養護教諭 清水 優子

1 題材設定の理由

(1) 題材について

自他の生命が尊重され、安全な生活を送るためには、個々の児童に安全に対する意識を養うことが大切である。中学年の児童は、どうして廊下を走ったらいけないのか、雨の日には傘をふり回してはなぜいけないのか理由を説明できても、実際には、なかなか行動として実践することは十分とは言えない。

中学年の目指す子ども像、「安全を意識し、落ち着いて行動できる子」を育成するためには、「わかっているのにどうして学校のきまりを守れないのか」を児童の内面に深く掘り下げて考えさせることが必要である。

そこで、日頃学校生活を支えてくれる主事さんや先生方から見た「学校生活に潜む危険」についての話を聞き、「つい、うっかり」という気持ちが引き起こす事故の多さを具体的な数値で提示することで、自分にも起こりうる身近な問題であることを理解させたい。そして、なぜ守れないのか、守れない時の心理状態を振り返った上で。自律した生活を送るための工夫を考えさせたい。

学校生活は大勢の人が活動しているところであり、自分もその一員であることを子どもたちに改めて意識させ、大勢の人がともに安全な生活をしていくためには、きまりを守ろうとする意識を常に一人一人がもつことが大切であることを理解して欲しいと思い、本題材を設定した。

(2) 児童の実態

活発的な児童が多く、休み時間は校庭でサッカーをしたり、おにごっこをしたりして元気よく外に出て遊んでいる。4月当初に比べて、5分前行動を意識し、始業のチャイムが鳴る前に、着席できる児童が増えてきた。

しかし遊びに夢中になると、時間を守れない、勝ち負けにこだわって、けんかになることも頻繁になり、自律した生活を送ることが難しい児童もまだ見られる。意識調査のアンケートでは、廊下や階段で、走ったり、左側を歩いたりしている児童が中学年以降急増することがわかった。特に、休み時間や昼休みに入る前に廊下や階段を走って校庭に出ている様子も見られる。担任が注意してもその場では行動を改めることはできるが、一過性であり意識は低い。アンケート結果を受けて、中学年全体で注意を促すことを意識して取り組むようにしたところ、「廊下を走ったらやり直し」とお互い声をかけあう様子も見られるようになってきている。

2 本時の学習

(1) ねらい

○きまりは安全な生活をする上で大切であることに気付き、進んできまりを守ろうとする態度を育てる。

(2) 展開

学習活動	支援 (○) 評価 (★) 留意点 (・)
<p>1 学校でヒヤリとした体験を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間、廊下を走って下級生とぶつかった。 ・清掃時、ほうきを振り回して友だちにぶつかった。 ・下校時に横並びに歩いて車とぶつかりそうになった。 ・教室で友だちとふざけて、転んで顔を打った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に自由に発表させる。 <p>○具体的な場面を資料を活用して、思い出させる。</p>
ヒヤリとしたことを発表しよう	
<p>2 学童養護さん、主事さん、生活指導主任の先生、養護の先生が学校生活の中でヒヤリとした時のインタビューを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下歩行の危険 ・休み時間の遊具の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃お世話になっている先生や主事さんの視点から日常生活に潜む危険を知ることができる。 <p>★自分の行動を振り返ることができる。【思考・判断】</p>
<p>3 五本木小学校で発生した怪我の件数と、その実態を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭清水先生のお話（資料） 	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビューの内容と関連のある資料を具体的な数値で提示し、考えさせる。 <p>★教室や廊下、階段を走ると大きな怪我をすることがわかる。【知識・理解】</p>
<p>4 どうして学校のきまりを守れないのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びに夢中になってしまう。 ・ふざけてしまう。 ・時間ギリギリまで遊んでしまう。 ・自分は大丈夫だと思ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりは知っているのに、なぜ守れないのか、守れない時の心理状態を振り返る。 <p>・  ぴぴっとマークを提示し、伝え合う活動であることを確認する。</p>
<p>5 安全に気を付けて、きまりを守るために工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標識を作る。 ・心を落ち着かせてから教室を出る。 ・5分前行動を心がける。 	<p>★どうすればきまりを守れるようになるか、考えることができる。【思考・判断】</p> <p>・子どもたちが考えた工夫を次の日から実行に移すことをおさえる。</p>

第4学年 総合的な学習の時間（生活安全）場所 ミーティングルーム

セカンドステップ 第2章 レッスン9

さえぎる人に気を取られないで、集中して話を聴こう

1組 22名 指導者 岸本 博和

1 題材の目標

- 自分の気持ちを表現し、相手の気持ちに共感して、お互いに理解し合い思いやりのある関係を作る力を身に付ける。
- 困難な状況に前向きに取り組み、問題を柔軟に解決する力や人と円滑な関係を作る力を身に付ける。
- 怒りの感情を自覚し、自分で怒りをコントロールし、建設的に問題を解決する力を身に付ける。

2 題材設定の理由

中学年では、「①安全を優先して危険を避ける子 ②学んだことを生活に生かす子 ③互いの良さを認め、高め合う子 ④感謝の心や思いやりの心をはぐくむ子」を育てるために、様々な手立てをとっていきたいと考えている。4年生ではその一つとして、アメリカで開発された暴力防止教育プログラムである「セカンドステップ」を導入することにした。

「安全・安心な学校」とは、だれからも攻撃されない、だれも攻撃しない人たちのいる学校のことである。児童の衝動的・攻撃的行動を和らげ、社会への適応力を高める目的で開発された「セカンドステップ」は、暴力防止という生活安全教育に有効であると考える。

「レッスン9」は、友達の影響で先生の話がよく聞き取れないときに、その友達を攻撃したり非難したりしないで、どのように集中して話を聞くかを考えるものである。児童の日常生活によく見られる例から、妨害をさとも集中して話を聞くための大変なポイントを知り、それを実践していくことで友達との無用なトラブルを避け安全な毎日を過ごす能力を高めていってほしいと願っている。

3 指導計画（28時間）

第1章：相互の理解（レッスン1～レッスン12）（12時間）

「自分の気持ちを表現し、相手の気持ちに共感して、お互いに理解し合い思いやりのある関係を作ること」全体のねらいとしている。

第2章：問題の解決（レッスン1～レッスン10）（10時間）

時	学習活動	支援（○）評価（★）
1	「ここで起こっていることは何か」が分かる。	○児童に分かりやすい困った場面を設定する。 ★困ったときは、まず落ち着いて、それからゆっくり考えることができたか。
2	自分の目と耳を使って、どんなことが起こっているか分かる。	○「どんなことが起こっているのか」を強調する ★いろいろな状況で困っていることを理解できたか。
3	困った問題に対して「解決策」を出す。	○ブレーンストーミングの方法を理解させる。 ★問題の解決策を考えることができたか。
4	他の子どもがしていることについて質問したり感想を言ったりできる。	○解決策を選ぶだけでなく、実際に行う方法を知らせる。 ★どの解決策がよいか考えて、どれをとるか決めることができたか。
5	実行した解決策を振り返る。	○他の解決策で何度も行動できることを知らせる。 ★うまくいかなかった場合、他の解決策をとることを理解できたか。
6	誰かと一つの物と一緒に使いたいときに大事なことを理解する。	○「一緒に使う」「順番にする」「交換する」は違うということを押えておく。 ★何かと一緒に使う方法を理解できたか。
7	順番に物を使う場合に大事なことを理解する。	○公平に待つ時間についても考えさせる。 ★順番にするために待つ方法を理解できたか。

3	遊び道具や本を交換するときに大事なことを理解する。	○相手と交換が成立する可能性が高い物を選ぶよう強調する。 ★適切な物と交換する方法を理解できたか。
9 本 寺	集中できない状況の時に、話している人に注意を向けるには、どうしたらよいかを理解する。	○「じやまする人を気にしないで集中する」ということは、その人を無視していることではないということを強調する。 ★気を散らさないで、自分のしたい行動をすることができたか。
10	会話の合間が分かり、行儀よく話しかけることを理解する。	○「待つ」ことは、行儀よく話しかける基本であることを強調する。 ★会話の合間が分かり、行儀よく話しかける方法が理解できたか。

第3章：怒りの扱い（レッスン1～レッスン5）（5時間）

を身に「怒りの感情を自覚し、自分でコントロールする力を養い、建設的に解決する関係を作ること」を全体のねらいとしている。

① 本時の学習

（1）ねらい

- 集中するためには、よく聞くことと、何かがじやまになっても気にしない態度が必要であることを知り、それを実践することにより、集中を妨害する人とのトラブルを避け、安全に生活しようとする態度を育てる。

（2）展開

学習活動

支援（○） 評価（★） 留意点（・）

1 本時のめあてを知る。	○輪唱は一斉に歌うより難しいことに気付かせ、その理由について考えさせる。
2 「カエルのうた」を全員で通して歌う。次に、輪唱する。	・集中するということを強調する ・原寸大と拡大の2種類の写真を用意する。
3 写真を見て何が起きているか考える。	○表情や態度に注目させる。 ・けいこさんは、ジュリーさんに話しかけられて先生の話が聞き取りにくいことを確認する。
4 けいこさんは、何をすることができるかを考える。	・表に児童の考え方を書き出し、「それもひとつの考え方ですね。他にありますか。」といいながら話を進める。
5 児童の提案した方法を実行するとどうなるか考える。	★何をすることができるか、考えることができたか。 【思考・判断】 ・児童の発言を評価しない。
けいこさんは、ジュリーさんを見ないようにして、先生だけを見て話を聞こうとしました。	
6 けいこさんが最初にしようとしたことを知る。	・「じやまする人を気にしないで集中する」ということは、だれかを仲間はずれにしたり、問題から逃げたりすることではないということを子どもたちに理解させる。

集中するときに大事なことを覚えておきましょう。一つめは、話をしている人を見て、聞くということです。二つめは、じやまする人を見ないということです。

8 二人一組で集中する練習をする。

- ・話しかける言葉を思いつかない児童のために、例文をいくつか用意しておく。

9 役割交代する。

- 集中できたかどうか。また、話しかけていた方の気持ちはどうかを考えさせる。

10 感じたことを伝え合う。

- ★集中するときに大事なことを理解して、集中して話を聞くことができたか。

 集中して話を聴こうとしている人に話しかけてどんな気持ちだったか、他の方法をとらないで話を聴いたについてどう思うかに着目させる。

まさか自分が…

2組 23名 指導者 神吉 孝子

1 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

生きているということは、生きている本人にとっては自然なことである。生命についても、その価値は児童にとって見えにくい。生命を見つめる視点は、誕生と死の場面に出会った時だと思われるが、児童の日常ではその場は多くはないだろう。阪神・淡路大震災での様子は、生命について考えざるを得ない場面である。

1/2成人式を迎える、誕生からこれまでを振り返る学習にこれから入る。自己中心的な時期も抜け、他との関わりを強めていこうとする10歳の節目に、「生きる」ことや「生命」についてみつめることは意義深いと考える。

(2) 児童の実態

生活安全・災害安全の学習としては、前期に「地域安全マップ」づくりを通して危険な場所と安全な場所の見分け方を学習した。そこで犯罪被害を防止する危険回避能力「イカのおすし」を確認し合った。さらに後期入り、台風災害時の身の守り方、安全性についても考えてきた。

今回は地震について、身近に起こり得る災害としてとらえ、物心両面での備えやいざという時の的確な対応について理解を深めておきたい。そのためには、科学的認識とともに、道徳授業において的心情や感情面のたがやしが大切である。

共に生きていこうとする姿勢は、とも遊びや学習の学び合いの場を通して育ってきている。穏やかで素直な優しい子どもたちなので、主人公の心情には共感できると思われる。前期で学習した道徳教材「わたしのいもうと」ではいじめが原因で死に至った話に涙ぐむ子もいた。

死を意識することは、子どもにとっては怖れにつながる。共感的に理解し恐怖心を抱く子がないよう配慮する。生きていくことのすばらしさへつなげたい。

2 資料について

平成7年1月17日午前5時46分、マグニチュード7、2の大地震が兵庫県を襲った。野島断層が縦横に走った西宮市に指導者の私は住んでいた。街のあちこちは崩壊し、人々はただ呆然とした朝を迎えた。しかし、陽が昇るとガラス破片で切った足をひきずりつつも、亀裂の入った道を余震に怯ながらクラスの子の安否を訪ね回った。「無事ですか?」「生きていたの!」…だが、地獄は目の前に広がった。倒壊家屋の下敷きになった女子。燃えさかる我が家を呆然と見つめる家族。即死の姉に寄り添う弟。…凍てつくような長い時間…。

学校へは次々と死体が運び込まれた。勤務校では、3名の児童が死亡。家族を失った児童は多数。体育館も教室も被災者の渦で、職員室もめちゃくちゃな中、被災者が被災者の世話を寝泊りした。

本教材は、自宅が火災に遭い、島根県へ疎開していった児童が、卒業式だけは自分の学校に出席したいと戻ってきた時に書いた作文である。(県出版の冊子に採用。一部改定、省略あり)

家族の救出を第一に行動したその時の様子の意味を、命の重さと愛情の深さの二面からとらえさせたい。体育館は被災者の家。戻って来ることができない4名の児童名をも呼びながら、ランチルームで行ったこの年の卒業式は忘れられない。(出典 「明日に生きる」兵庫県教育委員会)

2 本時の学習

(1) ねらい

○生命の危機を感じたぼくの思いに共感し、生命を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

	学習活動	支援 (○) 評価 (★) 留意点 (・)
導入	<p>1 阪神・淡路大震災がどのような災害であったかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的被害 ・物的被害 <p>2 資料を読み主人公の気持ちを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「まさか自分が・・・」を読み、ぼくの気持ちを考えよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・何がなんだかわからない。 ・逃げ出さなくちゃ。 ・火事を消しとめなきゃ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオでねらいとする価値への方向付けをする。 <p>○地震災害がおきると街はどうなるのかを視覚と感情に訴えて現実感をもたせる。</p> <p>★被害の概要をとらえることができている。</p>
展開前段	<p>3 災害の真っ只中での人々の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼく=何がなんだかわからない。 火事を消し止めなくちゃ。 ・お父さん=まだおばあちゃんがいる。助けなくちゃ！ ・お母さん=子どもと早く逃げなきゃ ・おばあちゃん=助けて！ ・お兄ちゃん=とにかく脱出！ 消火栓はどこだ。 ・近所の人=大丈夫？！ 佐藤家を助けなきゃ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本教材は、阪神・淡路大震災で起こった事実の一つであることを知らせる。 <p>○生命の危機に瀕した状態の中での「ぼく」の心情を共感的にとらえさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真の倒壊家屋から逃げ出したことを想定させる。 <p>○それぞれの人の行動を整理することで、緊急時にはとっさの判断が必要であることを理解させる。 (防災の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣近所の人々の心配や助け合いに気付かせ、温かい心のつながりを感じ取らせる。 <p>★危機に遭遇した時、自分でなく、人間の命を最優先する行動をとっていることに気付いている。</p> 
後段	<p>4 泣きながら抱き合った家族の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逃げ出せてよかった。 ・命が助かってよかった。 ・家族全員が無事でよかった。 ・近所の方、ありがとう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害時の紧迫した状況の中で、人々の生きることへのエネルギーを感じとり、伝え合わせる。 <p>○人間はそれぞれが必要とされる大きな存在であることに気付かせたい。</p> <p>★火事で失う多くのモノよりも人命を優先した行動から、命はかけがえのないものである意識を深めている。</p>
終末	<p>5 自分の命について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生きていることが当たり前ととらえている児童に命の重さを感じさせたい。
	<p>6 教師の体験談を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に遭った子の現在を知らせ、生きているすばらしさを実感させたい。

第5学年 総合的な学習の時間（食の安全）場所 5-1教室

食の安全を考えよう

1組 32名 指導者

高塚 純一

T・T 学校栄養職員 三浦 恵理子

ゲストティーチャー 給食調理員

1 題材の目標

○食の安全についての追求活動を通して、自分の命や健康と食べ物の関わりの大きさに気付き、食の安全に対して意識して生活する態度を育てる。

2 題材設定の理由

今、社会問題として「偽装食品」「賞味期限違反」など、日本の社会で食品に関する信頼が失われている。さらに外国との関わりでは、遺伝子組み換え大豆、農薬汚染の野菜、BSE問題など食品の不安が起きている。

さらに以前から食の安全に関しては環境問題を背景に農薬、発ガン物質、ホルモン以上など将来の子どもたちにとっての不安も起きている。21世紀を生きる子どもたちが「食の安全」に関心をもち、正しい理解を深めることはとても大切である。

インターネットの発達で、「食の安全」についていろいろ調べができるようになった。知識は豊かになったが子どもたちは本当に理解できているのか疑問な部分もある。そこで、調べたことを自分の知識とするだけではなく「食の安全」のビデオ作成を通して、生活を見つめることで「食の安全」を深く考えられるようにするためにこの題材を設定した。

3 指導計画（20時間）

時	学習活動	支援（○）評価（★）
1	〔食の安全って何だろう〕 ・食の安全について考える。	○身近な食の安全から考える。 ★食の安全について理解する。
2	〔食の安全について課題を見つける〕	○一人一人に課題をもたせる。 ★自分の課題について考えることが出来る。
3～5	〔食品添加物や農薬などとはどんなものか〕 ・どんなものかを調べる。 ・調べたことをまとめる。	○食品添加物や農薬を分類して考えさせる。 ★食品添加物や農薬などについて理解する。
6～7	〔課題別にグループにわかれ調べる〕 ・図書館やインターネットを活用する。	○調べ学習の方法をアドバイスする。 ★自分の課題を調べることが出来る。
8～11	〔食の安全についてビデオ作品作りの準備をする〕 ・取材ノートを作成する。 ・店やストアに取材に行く。	○マナーなどをアドバイスする。 ★ねらいにそった取材を行っている。
12～14	〔取材をもとに編集を考える〕 ・ビデオを編集する。	○仕事の役割分担をする。 ★分担した仕事を責任をもって行っている。
15～17	〔ビデオ発表会をする〕	○上手な発表の仕方を考えさせる。

		★自らの生活を振り返り、改善しようとする。
18～20	[保護者や他学年に学習したことを発表する]	○聞く人の立場を考えた発表をさせる。 ★わかりやすく伝えている。

4 本時の学習 (17/20)

(1) ねらい

- 身近な給食調理作業を通して、安全について様々に配慮されていることに気付く。
- ビデオ作りや発表会の活動を通して、「食の安全」について自らの生活を振り返り、改善しようとする。

(2) 展開

学習活動	支援 (○) 評価 (★) 留意点 (・)
1 前時の学習を振り返る。	
2 自分たちで作ったビデオを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで協力して発表させる。 ・発表のしかたを工夫させる。 <p>★効果的な方法で発表している。【表現・理解】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「給食と食中毒」のビデオを見て、食の安全について考える。 </div>
3 ビデオで気が付いたことや疑問に思ったことを自由に話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理員や学校栄養職員の衛生管理についての内容 ・調理員さんは、出来た料理の温度を温度計で測っているね。 ・給食室には検査をした人でないと入れないんだ。 ・調理するときには、その為の服装があるんだ。 	 <ul style="list-style-type: none"> ぴぴっとマークを提示し、伝え合う活動であることを確認する。 <p>★意欲をもって発表を聞いている。【関心・意欲】</p> <p>★「給食と食中毒」のビデオを見て、給食に関わっている人たちの工夫や努力に気付く。【知識・理解】 (手洗い、服装など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「食中毒」と自分の生活のつながりを考えている。
4 学校栄養職員から安全な給食（食中毒の防止）についての話を聞く。 「安全な給食を作るために」を見て考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○細菌の写真を提示したり、具体的な事例を出したりして食中毒の理解を深める。 <p>★食中毒について得た知識を元に、なぜそのような工夫をするのかを考えている。 【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの工夫を確認するために、途中でビデオを止める。
5 給食調理員にビデオの感想を伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思ったことや感じたことを、出来るだけ大勢の児童に発表させる。
6 給食調理員から食の安全についての思いや願いを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がわかりやすいように、調理作業着を着用してもらう。 ・相手の立場になって、最後まで落ち着いて話を聞かせる。
7 「ふりかえり」の活動をしてまとめる。	<p>★給食に関わる人への感謝とともに、自らの生活を振り返り、改善しようとしている。【思考・判断】</p>

守る命！その時、何ができる

1組 23名 指導者 西島能婦子
 ゲストティーチャー 東京大学地震研究所
 特任教授 笠原 敬司

1 題材の目標

災害前、災害発生時、災害後を想定したときに、災害の備え「自分たちにもできることは何か」班ごとに考え、調べまとめた追求の成果を発表しあう。そして、防災の必要性について理解し、防災を担う一員であることを自覚し、命の大切さをしっかりと考えることができる。

2 題材設定の理由

地震が起こりやすい地理的な条件をもっている日本は、世界有数の地震多発国である。近い将来、首都直下型地震が来るといわれているが、いつ、どんな地震が来るかわからない。もしかしたら、家族や友達が大怪我をしたり、家が壊れたりして避難所や仮設住宅で暮らすことになるかも知れない。電気も水道もガスも電話も使えなくなり、当たり前だった便利な暮らしが一瞬にして一変してしまう。災害が、ときとして人の命を奪うこともある恐ろしいものであることや、災害はいつでもどこでも起きる可能性があることを子どもたちに考えてもらいたい。また、災害そのものを止めることはできないが、それでも日ごろから災害について正しい知識と備えをしておくことで、被害を少しでも軽減させることができる。そして“備えの大切さ”や子ども一人一人に「自分で判断し、自分の身は自分で守る」という自助の心と、人と人との助け合う共助の心をもたせたい。

地震災害や災害時の避難所生活の様子を『ぼくの街に地震が来た！』（国崎信江著）や地震災害の映像を活用してイメージさせ、万が一そのような状況に置かれたときに「何をしなければいけないのか」人のためにできることは何か」など、自分たちにもできることを考えて身に付くようにさせたい。

3 指導計画（6時間）

時	学習活動	支援(○)評価(★)
1	『ぼくの街に地震が来た！』を読んで、内容を理解する。 ○感想をワークシートに書いて、発表する。	○『ぼくの街に地震がきた！』を読ませて防災に対するイメージを膨らませる。 ★意欲的に本を読み、主人公の気持ちを理解しようとしている。 【知識・理解】
2	○阪神大震災の映像から、災害の恐ろしさ感じる。 大災害時における備えと適切な行動により、被害を軽減することができることを知る。	○視覚的な教材でイメージを膨らませる。 ★備えは、被害を軽減することができるこを知り、防災の工夫を考えている。 【関心・意欲】
3 4 5	○グループ別に防災ワークショップをする。 「防災って何だろう」災害後の生活を想像する。 ・何が大変か・何ができるか・何をすべきか等 ○災害への備えの大切さに気付く。	○グループや家族で話し合ったことを、内容別、グループ別にワークショップをさせる。 ★災害後の生活を想定し、自分ならどうするかを考えている。 【思考・判断】
6 (本時)	○災害への備えや、災害が起きたときに自分たちにできることは何かなどをテーマに、グループで話し合い、調べ考えてきたことを発表する。 「守る命 その時 何ができる」	○グループ毎に調べ考えたことを発表させる。 ★調べ学習を通して、災害の備えやそれに伴う活動の大切さと命の大切さを考えている。 【思考・判断】
7	○避難生活で人のために何ができるか考える。	○ボランティア活動について考えさせる。

4 本時の学習（6／7）

(1) ねらい

○前時までの授業を振り返り、「防災とは何か」について確認させる。

○日ごろから、身の回りでできること、災害が起きてからできることについて考え、家庭や地域での防災を担う一員であることを自覚できるようにする。

(2) 展開

学習活動	支援（○）評価（★）留意点（・）
<p>1 前時までの学習を振り返りながら、災害時の写真や映像を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けが人が多く出るだろう。 ・大地震だと火事も発生するだろう。 ・災害後の暮らしはどうなるだろう。 	<p>○映像や写真をよく観察させ、災害の恐ろしさ、悲惨さに気付かせ、備えと適切な行動により、被害を軽減することが『防災』であることを確認させる。</p> <p>・映像や写真の出し方を工夫する。</p> <p>★災害の恐ろしさに気付く。 【関心・意欲】</p>

防災で自分たちができるることは何か、調べ考えたことを発表しよう

- 2 分担して、グループごとに調べ話し合ってまとめたことを発表しあう。

<地震発生時の場面想定>

教室で授業中に地震が発生

調理実習中に地震が発生

体育館で授業中に地震が発生

校外学習中に地震が発生

登下校中に地震が発生

家にいるときに地震が発生

<災害前・災害発生時・災害後想定>

- ①日ごろから身の回りでできる対策
- ②地震がおきたその時、すべき対策
- ③地震がおきた直後にすべき対策
- ④地震がおさまってからすべき対策
- ⑤災害後の生活などに対する対策
- ⑥大勢で生活する避難所ですべき対策（ボランティア活動）

- 3 地震研究所教授 笠原先生の話を聞く。

- 4 大都市を襲う地震火災（シュミレーション）の映像を見る。

- 5 災害時に適切な行動をとる大切さを認識する。



○地震発生時「自分たちにできることは何か」ということを場面別に、グループ毎に分担し、考え調べまとめたことを発表させる。

○それぞれの場で行動する優先順位を考えさせる。

- ・地震時の正しい行動、悪い行動
 - ・家庭で話していること（連絡方法・避難場所など）
 - ・家庭でしている防災、工夫、オリジナル防災グッズ等
 - ・連絡・けがの手当て・心臓マッサージなど出来る範囲
 - ・家族・住む場所・食事・健康・ライフライン
 - ・避難所生活について（ボランティア活動）
- ★グループごとに調べ、考えたことを発表し合う中で自分の考えと比べながら聞いている。 【関心・意欲】

○広い意味での防災として、地震のメカニズム研究のために、五本木小にも地震計を設置した話を聞かせる。

○意図的に作成された映像を見せて災害の備えやそれに伴う活動の大切さと命の大切さを考えさせる。

★備えは、被害を軽減することができるし、防災の工夫の大切さを確認している。 【知識・理解】

○まとめ・振り返りカードを提示する。

身の安全を第一に考え、落ち着いて行動する

★命の大切さを考えている。 【思考・判断】

第6学年 総合的な学習の時間（情報安全） 場所 6-2教室

インターネットの安全な利用の仕方

2組 24名 指導者 和田 正典

ゲストティーチャー

クライシスインテリジェンス代表

浅利 真

1 題材の目標

- インターネットの便利さと危険性を理解し、安全にインターネットを利用する力を身に付ける。

2 題材設定の理由

高学年になりパソコンや携帯電話でインターネットを利用する機会が増えてきている。また、パソコンを使い、家で自由にインターネットができる環境にある児童も少なくない。先日行った〔意識調査アンケート〕では、「現在、ブログや掲示板などに興味をもっている」と答えた児童がクラスの6割いた。また、「実際に家のパソコンを使い、チャットをしたり、掲示板に書き込みをしたりしたことがある」と答えた児童が3割ほど存在した。「携帯電話を持ってますか」という問い合わせでは、8割の児童が所持していることが分かった。すべての項目で昨年度に比べると非常に高い数値となっている。インターネットは、パソコンのみならず、携帯電話などでも今後、更に利用する機会が増え、活用方法も多岐にわたることが考えられる。インターネットの活用は、便利で有効であるが、その扱い方を間違えると、知らない間に被害者になったり、加害者になったりしてしまうという危険性がある。

本題材では、実際のサイトでのトラブルなどを理解させ、児童が情報社会特有の被害やトラブルから自分の身を守り、便利で安全にインターネットの光の部分（便利さや快適さ）を大いに活用できるように、その知識や正しい判断力を身に付けさせ、規律ある行動をしようとする態度を育てたいと考え、この題材を設定した。

3 指導計画（3時間）

時	学習活動	支援（○）評価（★）
1 (本時)	【個人情報について考える】 ○個人情報が知られると、どんな危険があるか考える。	○被害者や加害者にならないように気を付けるポイントをおさえる。 ★安全にインターネットを利用するためを考えることができる。 【思考・判断】
2	【不正請求について考える】 ○危険なページの例を見て、その対処法を考える。	○実際のページを提示し、対処法を考えさせる。 ★実際に遭遇したときの対処法を知る 【知識・理解】
3	【匿名性について考える】 ○チャットやブログ、掲示板などの有効な活用方法を考える。	○実際のチャットの様子を見せ、危険だと思われる箇所を考えさせる。 ★匿名性の危険を知る。 【知識・理解】

4 本時の学習（1／3）

(1) ねらい

○個人情報流出の危険を知り、インターネットを正しく利用するための知識を身に付ける。

(2) 展開

学習活動	支援（○）評価（★）留意点（・）
1 インターネットの世帯浸透率を知り、急伸の理由を考える ・便利　　・安い	○全国のインターネット世帯浸透率の推移のグラフを提示する。
2 どんなことに利用できるか知っていることを発表する ・いろいろ調べることができる ・ゲーム　・動画を見ることができる　・音楽が聞ける　・株　・銀行 ・ブログ　・チャット　　・掲示板 ・オークション	○本人の経験だけでなく、知っていることを発表させる。 ・インターネットの便利さに気付かせるようにする。 ★インターネットの便利さに気付くことができる。 【知識・理解】
3 インターネットで危険なことはないか考え、発表する ・犯罪に巻き込まれる。 ・個人情報が流出する。 ・自分の名前が使われる。 ・みんなで自殺する。	○ワークシートに記入させる。 ・考え方のない児童には、最近話題になったニュースなどを参考に考えるよう助言する。
4 個人情報について考える 個人情報とは何か。	・個人情報について共通理解が図れるようにする。
個人情報が知られるとどんな危険が考えられますか。	
ワークシートに記入し、発表する	○ワークシートに記入させる。
5 実際の事例を聞き、個人情報流出の危険について知る ゲストティーチャーから実際の事件事例についての話を聞く。	○同世代の事件事例について知らせる。 ★実際の事例を通し、「何が危険であったか」を考え、発表することできる 【関心・意欲】 ○被害者や加害者にならないように気を付けるポイントをおさえる。
6 今日の学習を振り返る。	★安全にインターネットを利用するための利用方法を考えることができる 【思考・判断】

ゆりのき学級 自立活動（生活安全） 場所 ゆりのき学級（ホール）
模擬授業

あったか言葉・チクチク言葉

ゆりのき学級全教職員

1 題材設定の理由

（1）児童の実態

本学級に通級している児童の中で、人との関わり方・コミュニケーションや、気持ちのコントロールに課題をもっている児童は少なくない。ゲームや勝敗のある活動などで、負けた時やうまくいかなかつた時に、相手が不快な気持ちになるとは知らずに、きつい言葉を言ってしまう場面も見られる。また、相手の表情から気持ちを理解することが得意でない児童も多い。そのために、友達とトラブルになったり、誤解されてしまったりすることが多々見られる。そのような時に、どうしたらしいのか、どのような言葉をかけるのがいいのか、どんな気持ちになるのかなど、個に応じた声かけや支援を常時行っている。

（2）題材について

児童にとって、「どのような言葉が相手をどのような気持ちにさせるのか」ということを知り、そしてそのことを実際の生活の場に生かせるようにすることが大切であり、より良い人間関係を築くことにつながると考える。

そこで、まず第一歩として、相手の心に届くようなあたたかい言葉、相手が不快な気持ちになる言葉があることを知ることが大事であると考え、前者を「あったか言葉」後者を「チクチク言葉」とし、本題材を設定した。

今回、「あったか言葉」「チクチク言葉」を知り、そして学んだことを生かすことができるよう、実践の場としてラケットリレーを取り入れた。その活動の中で、うまくいかなかつた時に、「あったか言葉」をかける、または「チクチク言葉」を言わずに我慢することができるよう意識させたい。児童の中には、なかなか「あったか言葉」を使うことができない児童もいるので、「チクチク言葉」を言わないようにすることを、特に大事にしていきたい。

（3）具体的な手立て

- ビデオの活用・・・状況場面をイメージしやすいように、また、客観的な判断ができるようにラケットリレーの様子をビデオで示す。
- ロールプレイ・・・学習したスキルを生かすための練習の場として取り入れ、実際の活動でより円滑に生かすことができるようとする。
- 支援の工夫・・・それぞれの児童が自分の言動をしっかりと振り返ることができるよう、担当の教員が児童の言葉かけや様子を記録する。そして、振り返りの時間に「あったかカード」「忍耐(にんにん)カード」を用意し、児童が自分の言動をしっかりと振り返ることができるようとする。



「あったか言葉」を
かけることができ
た。



「チクチク言葉」を
言わずに我慢でき
た。

2 模擬授業の展開

T 1(小池雄逸) T 2(渡辺美貴) ナレーター(白戸真智子)

児童 A(山田みよ子) B(萩元菜穂子) C(外川雄三) D(佐藤洋子) E(松井賢仁)

(1) ねらい

○言葉には、「友達の心をあたたかくする言葉(あったか言葉)」や「友達の心を傷つけてしまう言葉(チクチク言葉)」があることを知る。

○ラケットリレーを通して、「チクチク言葉」を言わないように我慢したり、「あったか言葉」を使おうとしたりする。

(2) 展開

学習活動	支援 (○) 評価 (★) 留意点 (・)
1 本時の学習を知る。	<p style="text-align: center;">「あったか言葉」「チクチク言葉」ってなんだろう</p>
2 ラケットリレーをしているビデオを見て、どんな言葉が出てきたか発表する。 [チクチク言葉] ・まったく、もう。 ・あんたのせいで負けた。 [あったか言葉] ・だいじょうぶ、だいじょうぶ。 ・いいよ、いいよ。	<p>○状況場面をイメージしやすいように、ラケットリレーの様子を「チクチク言葉を言ってしまう場合」と、「あったか言葉を言う場合」との2つに分けてビデオで示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレーをしている人の言葉や表情に注目する。 ・2つのビデオから、言葉かけには「あたたかいもの」と「チクチクするもの」があることに気付かせる。また、言われた時の気持ちも考えるようとする。 <p>○マークを使って、ことばを区別して表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで人から言われた「あったか言葉」にはどんなものがあったか思い出すようにする。 <p>★「あったか言葉」「チクチク言葉」の意味を知る。</p>
3 「あったか言葉」「チクチク言葉」を知る	<p style="text-align: right;">【知識・理解】</p>
4 「あったか言葉」をかけるロールプレイをする。 ・だいじょうぶだよ ・いいよ ・次がんばろう	<p>○見通しをもって活動に取り組めるように、先に指導者がロールプレイのお手本を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あったか言葉」をかけるができなくても、「チクチク言葉」を言わないで我慢できたことをその場で認め、褒めるようとする。
5 ラケットリレーをする。	<p>○「あったか言葉」「チクチク言葉」を確認し、意識できるように、児童の見やすい場所に表示する。</p>
6 本時の学習の振り返りをする。	<p>○それぞれの児童が自分の言動を振り返ることができるように、T 2がラケットリレー中の児童の言動を記録する。</p> <p>○「チクチク言葉」を言ってしまいそうな時には、T 2が、「あっ」などの言葉だけで反応し、本人に気付きを促す。</p> <p>★ゲームを通して、チクチク言葉を言わないようにしようとする。【思考・判断】</p> <p>○「あったかカード」「忍耐カード」を用意する。</p> <p>○T 2より、それぞれの児童のがんばったところを発表し、「あったかカード」「忍耐カード」を渡す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チクチク言葉」を言わないで我慢したことを認め、ほめるようとする。

五本木小安全指導用チェックリスト一覧

- ① 運動会
- ② - 1 遠足(実地踏査 交 通)
 - 2 遠足(実地踏査 目的地)
 - 3 遠足(実地踏査 当 日)
- ③ - 1 移動教室・林間学園
 - 2 移動教室・林間学園
- ④ ゆりのき学級(情緒障害指導通級学級)
- ⑤ - 1 休み時間(校舎内)
 - 2 休み時間(校庭)
 - 3 休み時間(体育館・中庭)
 - 4 休み時間(屋上・その他)
- ⑥ - 1 給食指導
 - 2 給食指導(学校栄養職員)
- ⑦ 清掃指導
- ⑧ - 1 日常の点検(校庭)
 - 2 日常の点検(教室)
- ⑨ 個人情報
- ⑩ - 1 体育(跳び箱運動)
 - 2 体育(水泳)
 - 3 体育(ボール運動・ボール遊び)
- ⑪ - 1 理科(実験装置)
 - 2 理科(マッチの使い方)
- ⑫ 音 楽(合奏)
- ⑬ 図 工(はさみの使い方)
- ⑭ 家庭科

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

①運動会

- テント設営時、児童の手伝う仕事内容が確認されているか。(場合により軍手の使用)
- いすや机の運搬時は、運び方などの確認がされているか。
- 固定遊具はロープで固定し、使用できないようにしているか。
- 演技者と参観者が接触しないように、杭やロープで安全の確保しているか。
- 児童の安全確保のために、コースの外側にラインを一本引いているか。
- スタートする時の合図用ピストルは、教師が扱っているか。
- スタートする時の合図用ピストルと児童との距離は、確保されているか。
- 各演技の安全上の確認をしているか。
- 長時間にわたる直射日光の下での活動に十分注意しているか。
- 活動内容に応じた休憩の取り方や水分の補給に配慮しているか。
- 水分補給用水筒や日よけ帽子、日よけ用長袖などの使用に配慮しているか。
- ライン用の石灰の扱い方について、気を配っているか。

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

②—1 遠足（実地踏査 交通）

- 目的地までの道筋を把握しているか。
- 道路の状況、道幅、歩道の有無、ガードレールの有無、工事箇所を把握しているか。
- 交通量の多さを把握しているか。
- 交差点の状況、横断歩道・歩道橋・信号の有無を確認しているか。
- 赤信号の待機場所を決めているか。
- 歩行の列（狭い道は1列、信号は4列など）を確認しているか。
- 特別な支援が必要な児童への配慮はされているか。
- 緊急事態発生時の教職員の役割分担が決められているか。
- 駅での混雑状況を把握しているか。
- トイレの場所と個数を確認しているか。
- 乗降に使用する階段の幅や距離を確認しているか。
- 乗降に使用する階段やホームの幅や距離を確認しているか。
- 入ってくる電車の状況や乗る車両の位置を把握しているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

②—2 遠足（実地踏査 目的地）

- 到着時の集合の場所や集合の方法を確認しているか。
- 施設全体の状況を確認しているか。
- トイレの場所、状況を確認しているか。
- 児童の活動範囲の安全確認ができるか。
- 危険な場所・物がないかどうかを確認しているか。
- 食事場所（雨天時も）の安全確認をしているか。
- 活動後の集合場所を確認しているか。
- 当日の一般客や他校の状況を把握しているか。
- 雨天の場合の対応が考えられているか。（場所、状況など）

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

②—3 遠足（当日）

- 児童の両手が空くように荷物を持たせているか。
- 荷物が両肩にバランスよくかかっているか。（リュックサックを使用）
- 服装や靴は、活動しやすいものか。
- 人員点呼の方法が決まっており、すばやくできるか。
- 医療品や救急箱が用意されているか。
- 緊急時の連絡体制は整っているか。
- 緊急時の医療機関の連絡先がわかっているか。
- 天候の変化に対応できる計画であるか。
- 移動時の教職員の位置や仕事分担がはっきり決めてあるか。
- 教職員同士の通信手段は確認しているか。
- 全体に指示を与える際に、教職員は太陽を背にしていることはないか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

③—1 移動教室・林間学園

- 事前に現地調査を行い、危険箇所をチェックしているか。
- バスの座席は事前に決められ、座席の配慮はなされているか。
- バスの中での過ごし方は正しいか（顔や手を窓から出さないなど）。
- 体調が悪い児童への対応は適切か（涼しくする、ビニール袋の準備など）。
- 健康に配慮をする児童への対応はなされているか。
- 宿舎での避難経路や見学地での危険箇所などを児童に説明しているか。
- 安全な過ごし方をしているか（宿舎内を走っていないかなど）。
- 水筒の管理ができているか（きちんと洗う、決められた量を飲むなど）。
- 気温に合わせて、衣類の調節ができているか。
- 風呂でふざけていないか。
- 風呂の湯の温度は適温か。
- 食前の手洗いの励行や生水を飲まないようにしているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

③—2 移動教室・林間学園

- 風呂上りの湯冷めに配慮しているか。
- 風向きに気を付けて花火を取り扱っているか。
- 花火の後片付けができるか。
- キャンプファイヤー時、火との距離は適切か。
- キャンプファイヤー時、火の始末はきちんとしたか。
- ハイキングにふさわしい服装をしているか（リュックサック、靴、長袖・長ズボン、帽子など）。
- ハイキング時、安全に注意して歩行しているか。
- 飯ごう炊さん時、火の取り扱い方は正しいか。
- 木綿の軍手を使用し、火や調理器具などを扱っているか。
- 食器の扱い方や配膳時のやけどなどに気を付けて行っているか。
- 緊急な場合に連絡する医療機関、関係機関の所在地や電話番号などの把握をしているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

④ゆりのき学級（情緒障害指導通級学級）

- 集合時、人に触れたり、押していないか。
- 整列時、前へならえを正しくし、言われた順序で並んでいるか。
- 列になって、順番を変えずに歩いているか。
- 扉・通路から離れて靴を脱ぎ履きしているか。
- 休み時間の遊具の使い方が守れているか。
- 遊び方のきまりが守れているか。
- 時間を守ろうとしているか。
- 係りの仕事を協力してやっているか。
- けがをした場合は伝えているか。
- 体の不調を伝えているか。
- 約束の場所にいるか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

⑤—1 休み時間（校舎内）

- 次の学習の用意ができているか。
- 天気の良い日に室内遊びをしていることはないか。
- 廊下や階段を走らず右側通行しているか。
- 昇降口でかかとを入れて、靴の履き替えをしているか。
- 雨天時は静かに教室で過ごしているか。
- 廊下や階段の曲がり角に注意して歩行しているか。
- トイレの扉の開け閉めはあわてないで行っているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

⑤ー2 休み時間（校庭）

- 花壇や植え込みの中で遊んでいないか。
- 花壇の近くでボール遊びをしていないか。
- サッカーゴールにぶら下がっていないか。
- バスケットゴールに乗っていないか。
- クラスマートを正しく使っているか。
- ボールや竹馬の片付けができるか。
- 真夏は水分補給をしているか。
- 黄色い帽子を着用（1年）しているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

⑤ー3 休み時間（体育館・中庭）

- 一輪車の乗り方は安全か。
- 植え込みや花壇で遊んでいないか。
- 黄色い帽子（1年）を着用しているか。
- 一輪車を片付けているか。
- 担任がいる時だけ遊んでいるか。
- ボール蹴り遊びはしていないか。
- ステージやギャラリーに上っていないか。
- 教室では、換気が行われているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

⑤ー4 休み時間（屋上・その他）

- フェンスなどの安全対策は万全であるか。
- 屋上の床面に、凹凸はないか。
- 禁止されているボール遊びを屋上でしていないか。
- 不要な運動用具や学習用具などが放置されていないか。
- チャイムが鳴る前に教室に戻っているか。
- 教室に戻る前に手洗い・うがい・トイレに行っているか。
- トイレなどでふざけていることはないか。
- 廊下の歩行は、守られているか。（右側通行・静かに・歩く）
- 玄関や昇降口で鬼ごっこなどして遊んでいないか。
- 廊下、階段、トイレ、水飲み場などで滑りやすい箇所、つまずきやすい箇所はないか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

⑥ー1 食食指導

- 教室配膳用ワゴンに乗ったり、ワゴン運搬のスピードを出し過ぎたりしていないか。
- やけどへの配慮はしているか（熱い物が入っている食缶など）。
- 牛乳瓶や食器の扱い方は丁寧で正しいか。
- 手洗いは、正しく行っているか。
- 給食着を身に付けて配膳しているか。
- 机にランチョンマットを敷いているか。
- 皿や箸などの食器具に破損がないか確認しているか。
- 異物が入っていることはないか。
- 異臭はしていないか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

⑥—2 給食指導（学校栄養職員）

- アレルギーの児童の給食にアレルギー食材が混入していないか。
- 下処理時、ビニール袋や切れ端などの異物が入っていないか。
- 調理時、肉・魚などの生ものは冷蔵庫で保管されているか。
- 調理中、虫などの混入はなかったか。
- 調理後の料理は75度以上になっているか。
- 皿や箸などの食器具に破損がないか確認しているか。
- 嘔吐後の食器具は、菌の拡散を防ぐ処理がなされたか。
- 消火器の位置と使用方法が周知されているか。
- 災害時や事故発生時の役割分担と連絡方法が周知されているか。
- 異物の原因になるような、消耗した備品をチェックし、買い換えているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

⑦ 清掃指導

- ほうきの持ち方や使い方は正しいか（振り回したりしていない）。
- 清掃用具が破損していないか。
- 用具の数は適切か。
- ぞうきんがけの方向は、衝突しないような指導が行なわれているか。
- ほうきで丁寧に床を掃いているか。
- バケツを利用して、ぞうきんを洗っているか。
- 教職員が清掃の指導にあたっているか。
- 清掃収納ロッカーの扉などの破損はないか。
- 机や椅子の運び方は約束が守られているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

⑧—1 日常の点検（校庭）

- 排水の具合はよいか。
- ガラス、石などは落ちていないか。
- 遊具（ジャングルジム、鉄棒、のぼり棒、うんていなど）の整備、保全は十分か。
- バスケットやサッカーのゴールポストなどは、適切な場所で使用され、転倒防止対策が講じられているか。
- 門扉、柵、校庭までの通路に危険箇所はないか。
- 朝礼台などは不要時には片付けられているか。
- 砂場の衛生管理はしてあるか。（猫などの糞の被害防止）
- 砂場は異物がなく常に整地され、砂の量は適切か。
- 校庭の整備は十分か。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

特別活動

⑧—2 日常の点検（教室）

- 出入り口の戸、窓枠、窓ガラスなどに異常はないか。
- 壁に掛けてあるもの、天井からの吊り下げ物など落下の心配はないか。
- 書棚やテレビ、ロッカー、黒板、蛍光灯など転倒・落下防止対策を講じているか。
- 机や椅子に破損はないか。
- 清掃用具の収納場所の扉破損はないか。
- 廊下・階段などの通路に物が置かれていないか。
- カーテンの破損や留め具のはずれはないか。
- 帽子掛けやかばん掛けなどの破損はないか。
- 危険な場所には落下防止などの表示がしてあるか。
- 床面は滑りややすかないか。
- 常に整理整頓が励行されているか。
- 窓から体を乗り出すことが可能となる台などが置かれていないか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

⑨個人情報

- ファクシミリ、電子メールのあて先は送付する前に、必ず確認しているか。
- 学校内外を問わず、個人情報や機密情報に関する内容の会話を不用意に交わさないようにしているか。(校内の廊下、公共の乗り物、飲食店など)
- 個人情報が記載された資料を配布する際は、番号を付け配布し適切に回収しているか。
- 席を離れるときに、個人情報の記載された文書・書類を目につける場所に放置していないか。
- 個人情報や機密情報が記された名簿や書類、電子媒体は校外に持ち出していないか。
- 個人情報が記載された文書は、必ずシュレッダー処理しているか。
- パソコン及び外部媒体を廃棄する際は、情報が復元できないように消去しているか。
- 個人情報の保護に関する研修を行っているか。
- 個人情報の流失を防ぐための児童への指導、家庭への依頼を適切に行っているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

教科

⑩－1 体育（跳び箱運動）

- 跳び箱は、決められた遊び方で複数で運んでいるか。
- 周りの状況を確認して、少しずつ運んでいるか。
- 跳び箱と跳び箱の間隔は、十分空いているか。
- 跳び箱がきちんとまとまっているか。
- マット、踏切板の位置は適切か。
- 助走の距離は適正か。
- 両手を置くポイントは適正か。
- 跳ぶ順番の確認とその間隔は守れているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

教科

⑩－2 体育（水泳）

- 全体指導者、個別指導者など、教員の役割分担ができているか。
- 指導に支障のある既往症などの有無や健康観察を十分行っているか。
- 排水口は吸い込み防止金具などがねじやボルトで固定されているか。
- 口深の調整は適切か。
- 緊急時に備えて、保温用毛布、酸素吸入器など装備しているか。
- 死角がないように入員を配置しているか。
- 児童の人数の把握はできているか（欠席、見学も含む）。
- 準備運動や整理運動は、適切に行われているか。
- 見学児童の健康管理への配慮はしているか。（水分補給など）
- 衛生面での問題はないか（ぱんそうこう・トイレ・鼻血・目洗いなど）。
- プールサイドや水中で、児童が安全に注意して行動する態度や習慣を身に付けさせているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

教科

⑩－3 体育（ボール運動・ボール遊び）

- ボールがゆがんでいたり、破損したりしていないか。
- ボールの空気の量は適量か。
- 準備運動はきちんと行っているか。
- 話を聞く時に、ボールに腰掛けていないか。
- 移動の時に、ボールを投げたりついせす、手に持っているか。
- 危険なプレーはないか（顔に向かって投げるなど）。
- 緊急時のけの対応はできているか（保健室との連絡が適切か）。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

教科

⑪—1 理科（実験装置）

アルコールランプについて

- しんが短くなっていないか。
- アルコールが8分目まで入っているか。
- 不安定な台の上に置いていないか。
- 火をつけたまま、持ち歩いていないか。
- もらい火をしていないか。
- 燃えやすいものを近くに置いていないか。
- ふたを使わずに吹き消していないか。
- ねれぞうきん、燃えさし入れ、マッチを用意しているか。

薬品の扱い方について

- なめたり、口に入れたりしていないか。
- 直接においをかいていないか。
- 片付ける際、流しに勝手に流していないか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

教科

⑪—2 理科（マッチの使い方）

- 実験に必要なものは片付けるなど、机上は整理されているか。
- 必要な分だけマッチ箱から出しているか。
- マッチの火を人に向けていないか。
- マッチ箱を開けたままで、火を付けていないか。
- マッチは、大箱から児童指導用にまめに詰め替えているか。
- 擦る方向と逆にマッチの頭をもってきているか。
- 消すときは振って消しているか（息をふきかけない）
- ねれぞうきんや水の入った燃えさし入れを用意しているか。
- 消火器の設置や救急箱を取り出しやすい場所に備えておいているか。
- 理科室の換気をこまめにしているか。
- 取扱い場所に配慮して保管しているか。
- （湿気のないところ・風通しの良いところに置く）

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

教科

⑫音楽（合奏）

- マレット類（バチ）を正しく、しっかり持っているか。
- ねじがゆるんでいないか。
- コードを使う楽器は、コードに気を付けて使用しているか。
- 大きな楽器を運ぶ時は、約束を守り大人とともに運んでいるか。
- 楽器など使用したものは、元あった場所に片付けているか。
- コードを巻いて、しまっているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト

教科

⑬園工（はさみの使い方）

- 刃の部分を握って運んでいるか。
- 机の端に置いていないか。
- 刃を閉じて置いているか。
- 歩いたり、動いたりしないで扱っているか。
- 刃の部分を握って渡しているか。
- 刃先を人に向けて持っていないか。
- 頭を刃先に近づけ過ぎていないか。
- 必要以上に厚い紙や固すぎる紙を切っていないか。
- はさみで切れる物と切れない物を理解しているか。
- 個に応じて、技能を発揮できる用具に変えているか。
- 切る場所、手の動き、紙の動きにより様々に技能を働かせているか。

備考

五本木小安全指導用チェックリスト



教科

⑯家庭科

包丁

- 食品を押さえる手は指先を丸めているか。
- 包丁を持ったまま歩き回っていないか。
- 決められた場所に置いているか（不安定な場所に置かない）。

ミシン

- 針から目を離さずに作業しているか。針のところに手を入れていないか。
- 縫うとき以外は、足をコントローラーから離しているか。
- ミシンから離れて他の作業をするときや、針を替えるときは電源を切っているか。

ガスコンロ

- 部屋の換気はよいか。
- 器具栓が閉じていることを確かめてからガス栓を開けているか。
- ゴム管は、ガス栓やガスコンロにしっかり接続されているか。
- コンロの近くに燃えやすい物などを置いていないか。

備考

MEMO

MEMO

平成19年度 学校安全年間指導計画（第1学年）

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生活目標		気持ちのよい「あいさつ」をしましよう	ものを大切にしましょう	ていねいなことばづかいをしましよう	「あとしまつ」をしつかりましょう	生活のリズムをつくりましょう	「あつまり」は、5分前を心がけましょう	元気よく、運動しましょう	みんなのために協力して仕事をしましょう	だれとでも助け合いい、仲良くしましょう	明るい「あいさつ」をしましょう	寒さに負けず、外で元気よく遊びましょう	1年間をふり返り感謝の気持ちをもちましょう
安全目標		学校の行き帰りは、通学路を通りましょう（生・交）	「あんぜん」を考えて生活しましょう（生・交・災）	雨の日の過ごし方を考えましょう（生活・災害）	自転車の乗り方のきまりを守りましょう（交通）	遊びのルールを守り、安全に過ごしましょう（生活・交通）	強い雨や風の時はあんせんに気を付けてましょう（生・交・災）	歩くとき、道路のきまりを守りましょう（交通）	「いかのおすし」を考えて自分のいのちを守りましょう（生活）	道路歩行のマナーを守りましょう（交通）	いのちをまもろう・たすけよう（生活・災害）	ポケットから手を出して歩きましょう（生活）	「あんぜん」に気を付けて登下校しましょう（生活・交通）
保健目標		自分のからだを知ろう	姿勢を正しくしよう	歯を大切にしよう	身のまわりの清潔に気を付けよう		ケガを予防して運動しからだを鍛えよう	目を大切にしよう正しい姿勢を保とう	薄着で生活しよう皮膚をきたえよう	カゼを予防しよううがい・手洗いをしつかりやろう	規則正しく生活しよう部屋を換気しよう	外で元気に遊ぼう	1年間の学校生活の反省 心の健康について考えよう
給食目標		力を合わせて準備や後片付けをしよう	食事のマナーを身に付けよう	身のまわりはいつもきれいにさっぱりと	暑さに負けない食事をしよう		なんでも食べてじょうぶながらだにしよう			楽しい話でなごやかな給食にしよう	落ち着いて食べようよくかんで	寒さに負けない食事をしよう	1年間の給食を振り返ろう
道徳		節度ある生活態度 礼儀 生命尊重	自立節度 親切	感謝 友情		公徳心 規則尊重	節度ある生活態度	友情	親切 思いやり	生命尊重	善悪の判断	愛校心	
学校 安全 学習	国語	・鉛筆の正しい使い方	・鉛筆の正しい使い方										
	算数	・おはじきの使い方	・算数ブロックの使い方										
	生活科	・学校探検の際の廊下歩行	・学校探検の際の廊下歩行	・動物との触れ合い方		・校外学習の時の歩行	・公園で安全に遊ぶ方法		・やきいもの焼き方 ・火の扱い	・昔からの遊び道具の使い方	・昔からの遊び道具の使い方	・1年間を振り返ろう	
	図工	・画用紙、紙、はさみの安全で適切な扱い	・共用絵の具、流し場の安全で適切な扱い	・接着剤、はさみの安全で適切な扱い	・粘土へら、粘土板の扱い		・共用絵の具の安全で適切な扱い	・陶芸用具、かきだしヘルの安全で適切な扱い	・ステーブラー、はさみ、定規の安全で適切な扱い	・共用絵の具、流し場の安全で適切な扱い	・ローラーと流し場の扱い	・はさみ、ステーブラー、接着剤の安全で適切な扱い	・はとめパンチの安全で適切な扱い
	音楽	教室での危険な行動について		楽器の使い方								楽器の使い方	
	体育	・並び方 ・遊具の使い方	・安全に配慮した準備運動の仕方	・プール入水時の安全	・水遊び時の安全	・水遊び時の安全	・跳び箱運動遊び時の安全	・マット運動遊び時の安全	・ボール遊びの安全	・かけ足(3分程度)の安全	・かけ足(3分程度)の安全	ゲームのルールを守ろう	
学校 安全 指導	学級活動	・通学路の確認 ・安全な集団下校 ・子ども110番の家 ・交通安全教室 ・たてわり班活動の参加	・休み時間の約束 ・安全な登下校 ・「イカのおすし」 ・道路の横断 ・遠足時の安全 ・運動会時の安全	・雨天時の約束 ・信号の見方 ・安全な登下校 ・自転車の乗り方 ・遊びのきまり ・防犯プログラム	・通学路の確認 ・落雷の危険 ・安全な登下校 ・自転車の乗り方 ・遊びのきまり	・通学路の確認 ・安全な登下校 ・自転車の乗り方 ・遊びのきまり	・校庭や屋上の使い方のきまり ・道路歩行時の安全 ・廊下の安全な歩行 ・ともだちのけが ・地震が来たら	・道路歩行時の安全 ・廊下の安全な歩行 ・全校遠足時の安全 ・不審者への対応 ・安全な服装 ・道路歩行時の安全 ・冬休みの安全	・不審者への対応 ・安全な服装 ・道路歩行時の安全 ・冬休みの安全	・安全な服装 ・道路歩行時の安全 ・冬休みの安全	・避難時の約束 ・危ないものを見付けた時	・身近な道路標識 ・雪の遊び方	・1年間の反省 ・ケガをしないために ・春休みの安全
	児童会活動	・1年生を迎える会	・運動会スローガン作り	・あいさつ標語作り	・子どもまつり準備	・防犯ポスター ・防災ポスター	・前期反省	・住区運動会	・ユニセフ募金 ・新潟がんばれ募金	・6年生送る会	・6年生送る会 ・1年生を迎える会	・6年生送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会
	主な学校行事	・始業式 ・入学式 ・健康診断 ・離任式 ・避難訓練(火災)	・遠足・運動会 ・健康診断 ・家庭訪問 ・避難訓練(地域 班編成集団下校)	・生活科見学 ・プール前健康診断 ・プール開き ・避難訓練(地震・ 火災)	・夏季水泳指導 ・防災プログラム ・道徳授業地区公開講座 ・避難訓練(地震・ 火災)	・夏季水泳指導	・子どもまつり ・防犯ポスター ・防災ポスター	・終業式・始業式 ・全校遠足 ・健康診断 ・避難訓練(火災)	・避難訓練(地震・ 火災)	・芸芸会 ・やきいも ・パーティー ・避難訓練(地震)	・がんばりマラソン健康調査 ・書き初め展 ・不審者対応訓練 ・避難訓練(火災)	・雪まつり ・避難訓練(防火 扇活用火災)	・6年生を送る会 ・大そうじ ・修了式 ・避難訓練(予告なし)
安全管理	対人管理	教職員、保護者の登校指導 ・集団下校指導 ・不審者対応訓練事前演習 ・さすまた訓練 ・救急救命法 ・安全に関する実態調査 ・教員の水泳、理科実験実技研修会 ・一人で歩かざるをえない場所確認地図 ・地域安全マップの作製 ・遠足の実踏 ・AED講習会	通学路の点検 ・防犯用具の点検 ・安全点検年間計画	防犯用具の点検 ・安全点検年間計画	学校環境の安全点検と整備	夏季休業前の校舎内外の点検	夏季休業中の校舎内外の点検	校庭・屋上などの整備	通学路の安全確認 ・防災設備の点検と整備	防災設備の点検と整備	学校内の危険箇所の確認と整備 ・防災用具の点検と整備	防災用具の点検と整備	学区内の安全施設の確認
	対物管理	・校舎内の危険箇所の確認(安全点検)(月に1回) ・通学路の点検 ・防犯用具の点検 ・安全点検年間計画	・防犯用具の点検 ・安全点検年間計画	・学校環境の安全点検と整備	・夏季休業前の校舎内外の点検	・夏季休業中の校舎内外の点検	・校庭・屋上などの整備	・通学路の安全確認 ・防災設備の点検と整備	・防災設備の点検と整備	・学校内の危険箇所の確認と整備 ・防災用具の点検と整備	・学区内の安全施設の確認	1年間の学校環境、安全点検の評価と反省	
	学校安全に関する組織活動	・毎週水曜日の生活指導朝会 ・灾害用伝言ダイヤル171の体験利用 ・災害時徒步参集訓練 ・五木本安全啓発ジャンパー着用 ・わんわんパトロール ・登下校の見守り ・春の交通安全時の交通当番 ・パトロール腕章配布	・校外における児童の安全行動の把握と情報交換	・学校安全委員会 ・地域の危険箇所点検 ・地域自転車安全教室	・国民安全の日(7月1日) ・「子ども110番の家」の訪問 ・地城パトロール ・飲酒運転撲滅運動	・防災の日(9月1日) ・秋の交通安全時の交通当番 ・保護者と共に通学路点検	・通学路の安全点検 ・目黒中央中学校地区連絡協議会	・年末年始の交通安全の啓発 ・冬期休業前防犯指導 ・人権週間	・防災とボランティアの日(1月17日)	・学校保健委員会	・地域交通安全パトロール		

平成19年度 学校安全年間指導計画 (第2学年)

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生活目標	生活目標	気持ちのよい「あいさつ」をしましよう	ものを大切にしましょう	ていねいなことばづかいをしましょう	「あとしまつ」をじっくりしましょう	生活のリズムをつくりましょう	「あつまり」は5分前を心がけましょう	元気よく、運動しましょう	みんなのために協力して仕事をしましょう	だれとでも、助け合い、仲良くしましょう	明るい「あいさつ」をしましょう	寒さに負けず、外で元気よく遊びましょう	1年間をふり返り感謝の気持ちをもちましょう
安全目標	安全目標	学校の行き帰りは、通学路を通りましょう 交・生	「あんぜん」を考えて生活しましょう 生活・交通	雨の日の過ごし方を考えましょう 生活	自転車の乗り方のきまりを守りましょう 交通	遊びのルールを守り、安全に過ごしましょう 生活	強い雨や風の時はあんぜんに気を付けましょう 災害	歩くとき、道路のきまりを守りましょう 交通	「いかのおすし」を考えて自分のいのちを守りましょう 生活	道路歩行のマナーを守りましょう 交通	いのちをまもろう・たすけよう 生活	ポケットから手を出して歩きましょう 生活	「あんぜん」に気を付けて登下校しましょう 生活・交通
保健目標	保健目標	自分のからだを知ろう	姿勢を正しくしよう	歯を大切にしよう	身のまわりの清潔に気を付けよう	ケガを予防して運動しからだを鍛えよう	目を大切にしよう 正しい姿勢を保とう	薄着で生活しよう 皮膚をきたえよう	カゼを予防しよう うがい・手洗いをしっかりやろう	規則正しく生活しよう 部屋を換気しよう	外で元気に遊ぼう	1年間の学校生活の反省 心の健康について考えよう	
給食目標	給食目標	力を合わせて準備や後片付けをしよう	食事のマナーを身に付けよう	身のまわりはいつもきれいにさっぱりと	暑さに負けない食事をしよう	何でも食べてじょうぶなからだにしよう	日本の食文化を見直そう	感謝して食べよう	寒さに負けない食事をしよう	学校給食について知ろう	よくかんで食べよう	1年間の給食を振り返ろう	
道徳	道徳	節度ある生活		生命尊重	公聴心規則尊重		節度ある生活	公聴心規則尊重	礼儀	生命尊重	親切	公聴心規則尊重	愛校心
安全学習	国語	・鉛筆の正しい使い方	・鉛筆の正しい使い方					・命の大切さ					
	算数						・30cm竹定規の取りあつかい方	・透明定規の取りあつかい方			・1m定規の取りあつかい方	・透明定規の取りあつかい方	・透明定規の取りあつかい方
	生活科	・学校探検の安全 ・動物との触れ合い	・学校探検の安全	・五本木の森、校庭の安全 ・動植物の触れ合い	・動植物の触れ合い			・児童館見学時の交通安全	・郵便局見学時の交通安全	・五本木の森の安全 ・焼き芋の焼き方	・昔遊びの道具の扱い方	・昔遊びの道具の扱い方	・昔遊びの道具の扱い方
	図工	・画用紙、紙、はさみの安全で適切な扱い	・共用絵の具、流し場、校庭写生の安全で適切な扱い	・接着剤、はさみ、水彩絵の具の安全で適切な扱い	・染料、刷毛、流し場の安全で適切な扱い	・はり金とベンチの安全で適切な扱い	・陶芸用具、陶土の安全で適切な扱い	・共用絵の具、水彩絵の具、流し場、はさみの安全で適切な扱い	・簡単な材木の安全で適切な扱い	・アルミ線、ベンチ、はさみ、接着剤の安全で適切な扱い	・はとめびよう、定期規格、はさみ、接着剤の安全で適切な扱い	・プラスチック材、紙粘土、カッターの安全で適切な扱い	・大きな紙、共用絵の具、流し場、はさみの安全で適切な扱い
	音楽			楽器の使い方			楽器の使い方	楽器の使い方			楽器の使い方		
	体育	・運動場の安全確認	・集団演技、行動時の安全	・ボール投げゲーム時の安全 ・水遊び時の安全	・水遊び時の安全	・水遊び時の安全 ・マット運動遊び時の安全 ・おに遊び時の安全	・かけっこ・リレー時の安全 ・おに遊び時の安全	・ボールゲーム時の安全 ・なわとび遊び時の安全	・ボールゲーム時の安全 ・なわとび遊び時の安全	・平均台・とび箱運動遊び時の安全 ・ボールけりゲーム時の安全	・平均台・とび箱運動遊び時の安全 ・ボールけりゲーム時の安全	・大縄遊び時の安全 ・ボールけりゲーム時の安全	
安全管理	学級活動	・通学路の確認 ・安全な集団下校 ・子ども110番の家 ・交通安全教室 ・たてわり班活動の参加	・休み時間の約束 ・安全な登下校 ・「イカのおすし」 ・道路の横断 ・遠足時の安全 ・運動会時の安全	・雨天時の約束 ・信号の見方 ・安全な登下校 ・自転車の乗り方 ・防犯プログラム	・通学路の確認 ・落雷の危険 ・安全な登下校 ・自転車の乗り方 ・遊びのきまり	・校庭や屋上の使い方のきまり ・道路歩行時の安全 ・廊下の安全な歩行 ・ともだちのけが ・地震が来たら	・道路歩行時の安全 ・廊下の安全な歩行 ・全校遠足時の安全	・不審者への対応 ・安全のための施設 ・乗り物の安全な乗り降りの仕方	・安全な服装 ・道路歩行時の安全 ・冬休みの安全	・避難時の約束 ・危ないものを見付けた時	・身近な道路標識 ・雪の遊び方	・1年間の反省 ・ケガをしないために ・春休みの安全	
	児童会活動	・1年生を迎える会 ・クラブ活動開始	・運動会スローガン作り	・あいさつ標語作り	・子どもまつり準備	・防犯ポスター ・防災ポスター	・前期反省	・住区運動会	・ユニセフ募金 ・新潟がんばれ募金	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・1年間の反省
	主な学校行事	・始業式 ・入学式 ・健康診断 ・避難訓練(火災)	・遠足・運動会 ・健康診断 ・家庭訪問 ・避難訓練(地域班編成集団下校)	・アーチ前健康診断 ・プール開き ・自転車教室 ・避難訓練(地震・火災)	・夏季指導 ・アーチ前健康診断 ・プール開き ・自転車教室 ・避難訓練(地震・火災)	・夏季水泳指導	・子どもまつり ・防災フェスタ in 五本木 ・秋の交通安全運動 ・避難訓練(引き取り)	・終業式・始業式 ・全校遠足 ・健康診断 ・避難訓練(火災)	・避難訓練(地震・火災)	・学芸会 ・やきいもパーティ ・書き初め展 ・研究発表会 ・不審者対応訓練 ・避難訓練(火災)	・がんばりマラソン健康調査 ・書き初め展 ・研究発表会 ・不審者対応訓練 ・避難訓練(火災)	・雪まつり ・避難訓練(防火扇活用火災) ・卒業式 ・修了式 ・避難訓練(予告なし)	・6年生を送る会 ・大そうじ ・卒業式 ・修了式 ・避難訓練(予告なし)
安全管理	対人管理	・教職員、保護者の登校指導 ・集団下校指導 ・不審者対応訓練事前演習 ・さすまた訓練 ・救急救命法 ・一人で歩かざるをえない場所確認地図 ・地域安全マップの作製 ・遠足の実踏 ・AED講習会											
	対物管理	・校舎内の危険箇所の確認(安全点検)(月に1回) ・通学路の点検 ・安全点検年間計画	・固定遊具の安全な使い方	・自転車の乗り方ルール・マナー	・夏季休業中の安全な遊び方やきまり	・安全な登下校の仕方	・安全な避難の仕方	・安全な避難の仕方	・冬季休業前の生活指導	・安全な避難・救命の仕方	・雪遊びの安全 ・凍結時の歩き方	・対人管理の評価と反省	
学校安全に関する組織活動		・週1回の生活指導朝会 ・災害用伝言ダイヤル171の体験利用											
		・春の交通安全時の交通当番 ・パトロール腕章配布	・校外における児童の安全行動の把握と情報交換	・学校安全委員会 ・地域の危険箇所点検 ・地域自転車安全教室	・国民安全の日(7月1日) ・秋の交通安全時の交通当番 ・地域パトロール ・飲酒運転撲滅運動	・「子ども110番の家」の訪問	・防災の日(9月1日) ・秋の交通安全時の交通当番 ・保護者と共に通学路点検	・通学路の安全点検	・目黒中央中学地区連絡協議会	・年末年始の交通安全の啓発 ・冬季休業前防犯指導 ・人権週間	・防災とボランティアの日(1月17日)	・学校保健委員会	・地域交通安全パトロール

平成19年度 学校安全年間指導計画（第3学年）

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
生活目標		気持ちのよい「あいさつ」をしましょう	ものを大切にします	ていねいなことはづかいをします	「あとしまつ」をしっかりします	生活のリズムをつくりましょう	「あつまり」は5分前を心がけましょう	元気よく、運動しましょう	みんなのために協力して仕事をします	だれとでも助け合い、仲良くします	明るい「あいさつ」をしましょう	寒さに負けず、外で元気よく遊びましょう	1年間を振り返り感謝の気持ちをもちましょう	
安全目標		学校の行き帰りは、通学路を通りましょう 交・生	「あんぜん」を考えて生活しましょう 生活・交通	雨の日の過ごし方を考えましょう 生活	自転車の乗り方のきまりを守りましょう 交通	遊びのルールを守り、安全に過ごしましょう 災害	強い雨や風の時はあんぜんに気を付けましょう 交通	歩くとき、道路のきまりを守りましょう 交通	「いかのおすし」を考えて自分のいのちを守りましょう 生活	道路歩行のマナーを守りましょう 交通	いのちをまもろう・たすけよう 生活	ポケットから手を出して歩きましょう 生活	「あんぜん」に気を付けて登下校しましょう 生活・交通	
保健目標		自分からだと知ろう	姿勢を正しくしよう	歯を大切にしよう	身のまわりの清潔に気を付けよう	ケガを予防して運動しからだを鍛えよう	目を大切にしよう 正しい姿勢を保とう	薄着で生活しよう 皮膚をきたえよう	カゼを予防しよう うがい・手洗いをしっかりやろう	規則正しく生活しよう 部屋を換気しよう	外で元気に遊ぼう	1年間の学校生活の反省 心の健康について考えよう		
給食目標		力を合わせて準備や後片付けをしよう	食事のマナーを身に付けよう	身のまわりはいつもきれいにさっぱりと	暑さに負けない食事をしよう	何でも食べてじょうぶなからだにしよう	日本の食文化を見直そう	感謝して食べよう	寒さに負けない食事をしよう	学校給食について知ろう	よくかんで食べよう	1年間の給食を振り返ろう		
道徳		節度ある生活	規則尊重	公徳心	礼儀	節度ある生活	生命尊重	規則尊重	生命尊重	勤労	公徳心	愛校心		
安全学習	国語						・命の大切さ							
	算数	・定規の使い方	・定規の使い方	・定規の使い方	・定規の使い方	・定規の使い方	・定規の使い方	・定規の使い方	・定規の使い方	・定規の使い方	・定規の使い方	・定規の使い方		
	社会	・地域巡り時の交通安全	・地域巡り時の交通安全	・地域巡り時の交通安全	・社会科見学時の交通安全		・地域巡り時の交通安全	・スーパー見学時の安全	・地域巡り時の交通安全	・地域巡り時の交通安全				
	理科	・移植ペラ、スコップの使い方	・観察中の安全	・観察中の安全	・観察中の安全		・温度計の使い方	・虫めがねの使い方	・ガラス器具の使い方	・乾電池、導線の使い方		・ガラス器具の使い方、乾電池、導線の使い方		
	図工	・共用絵の具、流し場はさみ、紙の安全で適切な扱い	・インク、流し場はさみ、接着剤の適切な使い方	・緩衝材、人口材等材料に適した用具の安全で適切な扱い	・接着剤、ステープラーの扱い、ギャラリーツアーの交通安全	紙の扱い	・角材、金槌、くぎ、ベンチ等の安全で適切な扱い	・こぎり、金槌釘、共用絵の具の安全で適切な扱い	・定規、コンパス、カッターナイフの安全で適切な扱い	・厚紙、接着剤、はさみ、絵の具、流し場の安全で適切な扱い	・のこぎり、きりの安全で適切な扱い	・きりの安全で適切な扱い		
	音楽			リコーダーの使い方			樂器の使い方				樂器の使い方			
	体育	・運動の場の安全の確認	・集団演技、行動時の安全	・ボールゲーム時の安全	・水泳時の安全	・水泳時の安全	・水泳時の安全	・ボールゲーム時の安全	・ボールゲーム時の安全	・跳躍運動時の安全	・跳び箱運動時の安全	・跳び箱運動時の安全		
	総合的な学習の時間	・「自転車教習所・自転車安全教室」交通安全	・「安心してくらせる町」(防災・地震)	・防災マップの作成	・英語に親しむ活動のゲーム時の安全	・「店員見習い」時の安全	・情報安全学習(パソコンセキュリティ)							
安全管理	学級活動	・通学路の確認	・学校ヒヤリマップ作り	・雨天時の安全な過ごし方	・道路での自転車乗車のきまり	・遊びのきまり	・安心して話す学級作り	・道路での歩行時のきまり	・不審者への対応	・安全な服装	・廊下の安全な歩行	・降雪時の安全	・1年間の反省	
	児童会活動	・安全な登下校	・地震時の安全	・道路標識のきまり	・夏休みの安全		・全校遠足の安全	・全校遠足の安全	・公共ルール	・冬休みの安全	・道路標識(自転車関係)	・けがをしやすい時間と場所		
	指導 主な学校行事	・遠足時の安全	・運動会時の安全	・自転車の乗り方	・落雷の危険		・校庭や屋上の安全な使い方	・校庭や屋上での安全な遊び方	・車内での安全な過ごし方	・安全な身支度	・暖房器具の安全	・春休みの安全		
安全管理	対人管理	・安全な登下校	・誘拐の起こる場所	・地震時の安全	・遠足時の安全	・運動会時の安全	・自転車の乗り方	・落雷の危険	・不審者への対応	・公共ルール	・廊下の安全な歩行	・降雪時の安全	・1年間の反省	
	対物管理	・1年生を迎える会	・運動会スローガン作り	・あいさつ標語作り	・子どもまつり準備	・防犯ポスター	・防災ポスター	・前期反省	・住区運動会	・ユニセフ募金	・6年生を送る会	・6年生を送る会	・6年生を迎える会	
	学校安全に関する組織活動	・始業式	・遠足・運動会	・健康診断	・プール前健康診断	・自転車安全教室	・避難訓練(火災)	・夏季水泳指導	・終業式・始業式	・新潟がんばれ募金	・6年生を送る会	・6年生を迎える会	・6年生を迎える会	
安全管理	対人管理	・健康診断	・自転車の乗り方	・地域の危険箇所	・避難訓練(火災)	・自転車安全教室	・避難訓練(地震)	・夏季水泳指導	・終業式・始業式	・ユニセフ募金	・6年生を送る会	・6年生を迎える会	・6年生を迎える会	
	対物管理	・避難訓練(火災)	・安全な登下校の確認	・固定遊具の安全	・自転車の乗り方ルール・マナー	・夏季休業中の安全な遊び方やきまり	・夏季休業前の校舎内外の点検	・夏季休業中の校舎内外の点検	・安全な登下校の仕方	・安全な避難の仕方	・冬季休業前の生活指導	・安全な避難・救命の仕方	・雪遊びの安全	
学校安全に関する組織活動	対人管理	・安全な登下校の確認	・固定遊具の安全	・自転車の乗り方ルール・マナー	・夏季休業中の安全な遊び方やきまり	・夏季休業前の校舎内外の点検	・夏季休業中の校舎内外の点検	・安全な登下校の仕方	・安全な避難の仕方	・冬季休業前の生活指導	・安全な避難・救命の仕方	・雪遊びの安全	・対人管理の評価と反省	
	対物管理	・校舎内の危険箇所の確認(安全点検)(月に1回)	・通学路の点検	・防犯用具の点検	・学校環境の安全点検と整備	・夏季休業前の校舎内外の点検	・夏季休業中の校舎内外の点検	・校庭・屋上など	・通学路の安全確認	・防災設備の点検と整備	・学校内の危険箇所の確認と整備	・防災用具の点検と整備	・区区内の安全施設の確認	・1年間の学校環境、安全点検の評価と反省
学校安全に関する組織活動	対人管理	・毎週水曜日の生活指導朝会	・灾害用伝言ダイヤル171の体験利用	・災害時徒步參集訓練	・五木本安全啓発ジャンパー着用	・わんわんパトロール	・登下校の見守り	・防災設備の点検と整備	・防災設備の点検と整備	・防災用具の点検と整備	・学校内の危険箇所の確認と整備	・防災用具の点検と整備	・区区内の安全施設の確認	・1年間の学校環境、安全点検の評価と反省
	対物管理	・春の交通安全時の交通当番	・校外における児童の安全行動の把握と情報交換	・学校安全委員会	・国民安全の日(7月1日)	・「子ども110番の家」の訪問	・防災の日(9月1日)	・通学路の安全点検	・目黒中央中学地区連絡協議会	・年末年始の交通安全の啓発	・防災とボランティアの日(1月17日)	・学校保健委員会	・地城交通安全パトロール	

平成19年度 学校安全年間指導計画（第4学年）

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生活目標		気持ちのよい「あいさつ」をしましょう	ものを大切にしましよう	ていねいなことばづかいをしましよう	「あとしまつ」をしつかりましょう	生活のリズムをつくりましょう	「あつまり」は5分前を心がけましょう	元気よく、運動しましよう	みんなのために協力して仕事をしましよう	だれとでも助け合い、仲良くしましょう	明るい「あいさつ」をしましょう	寒さに負けず、外で元気よく遊びましょう	1年間をふり返り感謝の気持ちをもちましょう
安全目標		学校の行き帰りは、通学路を通りましょう 交・生	「あんぜん」を考えて生活しましょう 生活・交通	雨の日の過ごし方を考えましょう 生活	自転車の乗り方のきまりを守りましょう 交通	遊びのルールを守り、安全に過ごしましょう 生活	強い雨や風の時はあんせんに気をつけましょう 災害	歩くとき、道路のきまりを守りましょう 交通	「いかのおすし」を考えて自分のいのちを守りましょう 生活	道路歩行のマナーを守りましょう 交通	いのちをまもろう・たすけよう 生活	ポケットから手を出して歩きましょう 生活	「あんぜん」に気をつけて登下校しましょう 生活・交通
保健目標		自分からだを知ろう	姿勢を正しくしよう	歯を大切にしよう	身のまわりの清潔に気をつけよう	ケガを予防して運動しからだを鍛えよう	目を大切にしよう 正しい姿勢を保とう	薄着で生活しよう 皮膚をきたえよう	カゼを予防しよう うがい・手洗いをしっかりやろう	規則正しく生活しよう 部屋を換気しよう	外で元気に遊ぼう	1年間の反省 心の健康について考えよう	
給食目標		力を合わせて準備や後片付けをしよう	食事のマナーを身に付けよう	身のまわりはいつもきれいにさっぱりと	暑さに負けない食事をしよう	何でも食べてじょうぶなからだにしよう	日本の食文化を見直そう	感謝して食べよう	寒さに負けない食事をしよう	学校給食について知ろう	よくかんで食べよう	1年間の給食を振り返ろう	
道徳		節度ある生活	思慮反省	礼儀	生命尊重	勤労	生命尊重	勇気・親切	思慮反省	公徳心・規則尊重	親切	愛校心	
安全学習	国語						・命の大切さ						
	算数	・定規の取りあつかい方	・コンパスの使い方			・三角定規、分度器の使い方							
	社会		・地域巡り時の交通安全	・地域巡り時の交通安全			・警察署見学時の交通安全						
	理科	・移植ごと、スコップの使い方	・空気でっぽうの使い方	・乾電池、導線の使い方	・観察中の安全	・夜間観察の安全	・観察中の安全 ・アルコールランプ・マッチ・ガラス器具の使い方	・アルコールランプ・マッチ・ガラス器具の使い方	・アルコールランプ・マッチ・ガラス器具の使い方	・観察中の安全	・アルコールランプ・マッチ・ガラス器具の使い方	・アルコールランプ・マッチ・ガラス器具の使い方	
	図工	・画用紙、紙、はさみの安全で適切な扱い	・水彩絵の具、ステーブラー、流し場の安全で適切な扱い	・接着剤、はさみ、の安全で適切な扱い	・のこぎり、くぎ金槌の安全で適切な扱い、ギャラツーの交通安全	・陶土、ヘラ、かきだしへら、切り弓の安全で適切な扱い	・カッターナイフ、くぎ、のこぎり、金づちの安全で適切な扱い	・厚紙、共用絵の具、水彩絵の具、流し場の安全で適切な扱い	・ホットグルー、木材、紙粘土の安全で適切な扱い	・塗装についてサンドペーパーの安全で適切な扱い	・めぐろの子どもたち展交通安全	・電動のこぎり、針金、ペンチの安全で適切な扱い	・彫刻刀、はとめパンチ、カッターナイフ、安全で適切な扱い
	音楽				樂器の使い方	樂器の使い方	樂器の運搬	樂器の運搬		樂器の使い方			
	体育	・運動の場の安全確認	・集団演技、行動時の安全	・ボールゲーム時の安全 ・着衣泳時の安全 ・水泳時の安全	・水泳時の安全	・水泳時の安全 ・保健「体の発育・発達」 ・ボールゲーム時の安全	・鉄棒、高とび運動時の安全 ・ボールゲーム時の安全	・鉄棒、高とび運動時の安全 ・保健「思春期の体の変化」 ・跳躍運動時の安全	・保健「思春期の体の変化」 ・跳躍運動時の安全	・ボールゲーム時の安全 ・跳び箱運動時の安全	・ボールゲーム時の安全	・力試しの運動時の安全	
	総合的な学習の時間	・「安心してくらせる町」	・地域安全マップの作製時の安全	・「人にやさしい町」調べの生活安全・交通安全・災害安全	・英語に親しむ活動のゲーム時の安全	・情報安全学習（パソコンセキュリティー）							
安全管理	学級活動	・通学路の確認 ・安全な登下校 ・クラブたてわり班活動の参加 ・遠足時の安全	・地震時の安全 ・あいさつ ・運動会時の安全	・雨天時の安全な過ごし方	・道路での自転車乗車のきまり ・夏休みの安全 ・落雷の危険	・遊びのきまり	・安心してできる話し合い ・CAPプログラム ・校庭や屋上の安全な使い方	・全校遠足の安全 ・道路歩行の安全 ・校庭での安全な遊び方	・不審者への対応 ・車内での安全な過ごし方	・冬休みの安全 ・安全な服装	・廊下の安全な歩行 ・避難時の約束 ・安全な身支度	・降雪時の安全 ・道路標識（自転車関係）	・1年の反省 ・けがをしやすい時間と場所 ・春休みの安全
	児童会活動	・1年生を迎える会 ・クラブ活動開始	・運動会スローガン作り	・あいさつ標語作り	・子どもまつり準備	・防犯ポスター ・防災ポスター	・前期反省	・住区運動会	・6年生を送る会 ・新潟がんばれ募金	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会 ・1年間の反省
	主な学校行事	・始業式 ・健康診断 ・避難訓練（火災）	・遠足・運動会 ・健康診断 ・家庭訪問 ・避難訓練（地域班編成集団下校）	・プール前健康診断 ・夏季水泳指導 ・道徳授業地区公開講座 ・防災キャンプ ・避難訓練（地震・火災）	・夏季水泳指導	・子どもまつり ・防災フェスタ in 五本木 ・CAP ・秋の交通安全運動 ・避難訓練（引取り）	・終業式・始業式 ・全校遠足 ・健康診断 ・避難訓練（火災）	・連合音楽会 ・社会科見学 ・避難訓練（地震）	・芸術会 ・避難訓練（地震・火災）	・がんばりマラソン健康調査 ・書き初め展 ・不審者対応訓練 ・避難訓練（火災）	・雪祭り ・避難訓練（防火扉活用火災）	・6年生を送る会 ・大そうじ ・修了式 ・避難訓練（予告なし）	
安全管理	対人管理	・教職員、保護者の登校指導 ・集団下校指導	・不審者対応訓練	・事前演習	・さすまた訓練	・救急救命法	・安全の講習会	・安全に関する実態調査	・教員の水泳、理科実験実技研修会				
		・一人で歩かざるをえない場所確認地図	・地域安全マップの作製	・遠足の実踏	・AED講習会								
安全管理	対物管理	・学校のきまり（通常学路舎）の確認	・固定遊具の安全な使い方	・自転車の乗り方ルール・マナー	・夏季休業中の安全な遊び方やきまり	・安全な登下校の仕方	・電車、バスの安全な乗降の仕方	・安全な避難の仕方	・冬季休業前の生活指導	・安全な避難・救命の仕方	・雪遊びの安全 ・凍結時の歩き方	・対人管理の評価と反省	
		・校舎内の危険箇所の確認（安全点検）（月に1回）	・通学路の点検 ・安全点検年間計画	・防犯用具の点検と整備	・学校環境の安全点検と整備	・夏季休業前の校舎内外の点検	・夏季休業中の校舎内外の点検	・校庭・屋上などの整備	・通学路の安全確認	・防災設備の点検と整備	・学校内の危険箇所の確認と整備	・防災用具の点検と整備	・学区内の安全施設の確認
学校安全に関する組織活動		・毎週水曜日の生活指導朝会	・災害用伝言ダイヤル171の体験利用	・災害時徒步參集訓練	・五本木安全啓発ジャンパー着用	・わんわんパトロール	・登下校の見守り						
		・春の交通安全時の交通当番	・校外における児童の安全行動の把握と情報交換	・学校安全委員会	・国民安全の日（7月1日）	・「子ども110番の家」の訪問	・防災の日（9月1日）	・通学路の安全点検	・目黒中央中学校地区連絡協議会	・年末年始の交通安全の啓発	・防災とボランティアの日（1月17日）	・学校保健委員会	・地域交通安全パトロール

平成19年度 学校安全年間指導計画（第5学年）

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生活目標		気持ちのよい「あいさつ」をしましよう	ものを大切にしましょう	ていねいなことばづかいをしましよう	「あとしまつ」をしつかりましょう	生活のリズムをつくりましょう	「あつまり」は5分前を心がけましょう	元気よく、運動しましょう	みんなのために協力して仕事をしましょう	だれとでも助け合い、仲良くしましょう	明るい「あいさつ」をしましょう	寒さに負けず、外で元気よく遊びましょう	1年間をふり返り感謝の気持ちをもちましょう
安全目標		学校の行き帰りは、通学路を通りましょう（交・生）	「あんぜん」を考え生活しましょう（生・交・災）	雨の日の過ごし方を考えましょう（生活・災害）	自転車の乗り方のきまりを守りましょう（交通）	遊びのルールを守り、安全に過ごしましょう（生活・交通）	強い雨や風の時はあんせんに気を付けてましょう（生・交・災）	歩くとき、道路のきまりを守りましょう（交通）	「いかのおすし」を考えて自分のいのちを守りましょう（生活）	道路歩行のマナーを守りましょう（交通）	いのちをまもろう・たすけよう（生活・災害）	ポケットから手を出して歩きましょう（生活）	「あんぜん」に気を付けて登下校しましょう（生活・交通）
保健目標		自分のからだを知ろう	姿勢を正しくしよう	歯を大切にしよう	身のまわりの清潔に気を付けよう		ケガを予防して運動しからだを鍛えよう	目を大切にしよう 正しい姿勢を保とう	薄着で生活しよう 皮膚をきたえよう	カゼを予防しよう うがい・手洗いをしっかりやろう	規則正しく生活しよう 部屋を換気しよう	外で元気に遊ぼう	1年間の反省 心の健康について考えよう
給食目標		力を合わせて準備や後片付けをしよう	食事のマナーを身に付けよう	身のまわりはいつもきれいにさっぱりと	暑さに負けない食事をしよう	何でも食べてじょうぶなからだにしよう	日本の食文化を見直そう	感謝して食べよう	寒さに負けない食事をしよう	学校給食について知ろう	よくかんで食べよう	1年間の給食を振り返ろう	
道徳		節度ある生活	自由規律	生命尊重	公徳心	社会への奉仕	生命尊重	社会的役割と自覚と責任	親切・思いやり	尊敬・感謝	礼儀	愛校心	
学校安全	国語												命の大切さ
	算数				三角定規の使い方	コンパスの使い方							
	社会				・食の安全			・情報伝達の方法			・社会科見学時の交通安全		
	理科	・移植ごと、スコップの使い方	・観察中の安全	・生命尊重			・顕微鏡の使い方		・てこ実験機の使い方	・上皿てんびんの使い方	・アルコールランプ、マッチ、ガラス器具の使い方	・アルコールランプ、マッチ、ガラス器具の使い方	・ぶりこの使い方
	図工	・画用紙、紙、はさみの安全で適切な扱い	・絵の具、ステークター、流し場の安全で適切な扱い	・接着剤、はさみ、液体粘土、陶土、へら、切り弓の安全で適切な扱い	・カッターナイフの安全で適切な扱い		・ぐぎ、のこぎり、金づち、キリ、ニス、ヤスリがけの安全で適切な扱い	・厚紙、共用絵の具安全で適切な扱い	・紙、カッターナイフ、はさみ、ステークターの安全で適切な扱い	・厚紙、共用絵の具、はさみ、接着剤の安全で適切な扱い	・電動のこぎりの安全で適切な扱い	・電動のこぎり、彫刻刀の安全で適切な扱い	・金槌、ベンチ、金とこ、アルミ線、ニスの安全で適切な扱い
	音楽				楽器の使い方		楽器の使い方	楽器の運搬	楽器の運搬				楽器の扱い、運搬
	家庭科			・調理実習時の安全（包丁、ガスコンロの使い方）	・裁縫時の安全（針、はさみの使い方）	・熱湯の安全な使い方	・食品の取扱い方	・油の安全な使い方	・裁縫時の安全（ミシンの使い方）	・裁縫時の安全（ミシンの使い方）			調理実習時の安全（包丁、ガスコンロの使い方）
	体育	・運動の場の安全確認 ・陸上運動時の安全	・集団演技・行動時の安全 ・着衣泳時の安全 ・水泳時の安全	・鉄棒運動時の安全 ・水泳時の安全	・水泳時の安全		・水泳時の安全	・怪我の防止（保健） ・跳躍運動、ボール運動時の安全	・ボール運動時の安全	・持久走時の安全	・跳び箱運動時の安全 ・ボール運動時の安全	・ボール運動時の安全	・心の健康（保健）
	総合的な学習の時間	・けがの防止と応急処置 ・救命救急	・食の安全	・情報安全学習（パソコンセキュリティ）									
	学級活動	・通学路の確認 ・安全な登下校 ・安全な委員会活動	・地震時の安全 ・運動会時の安全 ・交通機関利用時の安全 ・身の回りの犯罪	・雨天時の事故とけが ・不審電話の対応	・自転車の点検と整備の仕方 ・夏休みの安全 ・落雷の危険 ・林間学園の安全		・校庭や屋上で起ころる事故の防止 ・運動時の事故とけが	・全校遠足の安全 ・乗車時の事故とけが	・不審者への対応 ・火災防止	・安全な身支度 ・冬休み中の事故やけが	・廊下の安全な歩行 ・火災時の安全 ・暖房器具の安全な使用 ・衣服の調節	・火災時の安全 ・春休みの安全 ・けがの種類と応急処置	
安全指導	児童会活動	・1年生を迎える会 ・クラブ活動開始	・運動会スローガン作り	・あいさつ標語作り	・子どもまつり準備	・防犯ポスター ・防災ポスター	・前期反省	・住区運動会	・ユニセフ募金 ・新潟がんばれ募金	・6年生を送る会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会 ・1年間反省
	主な学校行事	・始業式 ・健康診断 ・避難訓練（火災） ・遠足・運動会 ・健診 ・家庭訪問 ・避難訓練（地域班編成集団下校）	・遠足・運動会 ・健診 ・家庭訪問 ・避難訓練（地域班編成集団下校）	・ブル前健康診断 ・ブル開き ・セーフティ教室 ・着衣泳 ・避難訓練（地震・火災）	・夏季水泳指導 ・防災キャンプ ・林間学園 ・秋の交通安全運動 ・避難訓練（地震・火災）	・夏季水泳指導 ・防災フェスタ in 五本木 ・全校遠足 ・秋の交通安全運動 ・避難訓練（引取り）	・子どもまつり ・防災フェスタ ・林間学園 ・秋の交通安全運動 ・避難訓練（火災）	・終業式 ・始業式 ・全校遠足 ・健康診断 ・避難訓練（火災）	・連合音楽会 ・R D検査 ・避難訓練（地震・火災）	・芸術会 ・避難訓練（地震） ・書き初め展 ・社会科見学 ・不審者対応訓練 ・避難訓練（火災）	・がんばりマラソン健康調査 ・書き初め展 ・社会科見学 ・不審者対応訓練 ・避難訓練（火災）	・雪まつり ・避難訓練（防火・耐震用火災） ・卒業式 ・終了式 ・避難訓練（予告なし）	・6年生を送る会 ・大そうじ ・卒業式 ・終了式 ・避難訓練（予告なし）
安全管理	対人管理	・教職員、保護者の登校指導 ・集団下校指導 ・一人で歩かざるをえない場所確認地図 ・学校のきまり（通学路含）の確認	・不審者対応訓練事前演習 ・地域安全マップの作製 ・遠足の実踏 ・AED講習会	・さすまた訓練 ・救急救命法 ・安全の講習会	・安全に関する実態調査	・教員の水泳、理科実験実技研修会							
	対物管理	・固定遊具の安全確認 ・校舎内の危険箇所の確認（安全点検）（月に1回）	・自転車の乗り方ルール・マナー	・夏季休業中の安全な遊び方やきまり	・安全な登下校の仕方	・安全な避難の仕方	・安全な避難の仕方	・冬季休業前の生活指導	・安全な避難・救命の仕方	・雪遊びの安全 ・凍結時の歩き方	・対人管理の評価と反省		
学校安全に関する組織活動		・毎週水曜日の生活指導朝会 ・春の交通安全時の交通当番	・防犯用具の点検と整備	・学校環境の安全点検と整備	・夏季休業前の校舎内外の点検	・夏季休業中の校舎内外の点検	・校庭・屋上などの整備	・通学路の安全確認	・防災設備の点検と整備	・学校内の危険箇所の確認と整備	・防災用具の点検と整備	・学区内の安全施設の確認	・1年間の学校環境、安全点検の評価と反省
		・校外における児童の安全行動の把握と情報交換	・学校安全委員会 ・地域の危険箇所点検 ・地域自転車安全教室	・国民安全の日（7月1日） ・「子ども110番の家」の訪問	・「子ども110番の家」の訪問	・防災の日（9月1日） ・秋の交通安全時の交通当番 ・地域パトロール ・飲酒運転撲滅運動	・通学路の安全点検	・目黒中央中学区地区連絡協議会	・年末年始の交通安全の啓発 ・冬期休業前の防犯指導 ・人権週間	・防災とボランティアの日（1月17日）	・学校保健委員会	・地域交通安全パトロール	

平成19年度 学校安全年間指導計画（第6学年）

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
生活目標		気持ちのよい「あいさつ」をしましょう	ものを大切にしましょう	ていねいなことばづかいをしましょう	「あとしまつ」をしつかりとしましょう	生活のリズムをつくりましょう	「あつまり」は、5分前を心がけましょう	元気よく、運動しましょう	みんなのために協力して仕事をしましょう	だれとでも助け合い、仲良くしましょう	明るい「あいさつ」をしましょう	寒さに負けず、外で元気よく遊びましょう	1年間をふり返り感謝の気持ちをもちましょう	
安全目標		学校の行き帰りは、通学路を通りましょう（交・生）	「あんぜん」を考えて生活しましょう（生・交・災）	雨日の過ごし方を考えましょう（生活・交通）	自転車の乗り方のきまりを守りましょう（交通）	遊びのルールを守り、安全に過ごしましょう（生活・交通）	強い雨や風の時は安全に気を付けましょう（生活）	歩くとき、道路のきまりを守りましょう（交通）	「いかのおすし」を考えて自分ののちを守りましょう（生活）	道路歩行のマナーを守りましょう（交通）	いのちをまもろう・たすけよう（生・災）	ポケットから手を出して歩きましょう（生活）	「あんぜん」に気を付けて登下校しましょう（生活・交通）	
保健目標		自分のからだを知ろう	姿勢を正しくしよう	歯を大切にしよう	身のまわりの清潔に気を付けよう	ケガを予防して運動しからだを鍛えよう	目を大切にしよう 正しい姿勢を保とう	薄着で生活しよう 皮膚をきたえよう	カゼを予防しよう うがい・手洗いをしっかりやろう	規則正しく生活しよう 部屋を換気しよう	外で元気に遊ぼう	1年間の反省 心の健康について考えよう		
給食目標		力を合わせて準備や後片付けをしよう	食事のマナーを身につけよう	身のまわりはいつもきれいにさっぱりと	暑さに負けない食事をしよう	何でも食べてじょうぶながらだにしよう	日本の食文化を見直そう	感謝して食べよう	寒さに負けない食事をしよう	学校給食について知ろう	よくかんで食べよう	1年間の給食を振り返ろう		
道徳		節度ある生活 礼儀	信頼友情 勇気・努力	自由・規律	生命尊重 勤労・奉仕	社会的役割の自覚と責任	個性伸長 生命尊重	自然愛 規則尊重	思いやり 公徳心	社会への奉仕 尊敬感謝	勤労 礼儀	親切 個性の伸長		
学校安全	国語							・命の大切さ						
	算数			コンパスの使い方										
	社会								・社会科見学時の交通安全					
	理科	・アルコールランプ、マッチ、ガラス器具の使い方	・アルコールランプ、マッチ、ガラス器具の使い方			地震時の安全	・乾電池・導線の扱い方	・薬品、ガラス器具の扱い方	・薬品、ガラス器具の扱い方	・情報の安全	・情報の安全	・情報の安全		
	図工	・風景写生、紙、流し場の安全で適切な扱い	・ステークナー、はさみ、流し場の安全で適切な扱い	・接着剤、はさみ、接着剤の安全で適切な扱い	・カッター、ヒートカッター、接着剤、ニードルの安全で適切な扱い	・カッター、ヒートカッター、接着剤、ニードルの安全で適切な扱い	・材木、金槌、のこぎり、くぎ、きり、ニスの安全で適切な扱い	・ホットグルー、はさみ、接着剤の安全で適切な扱い	・厚紙、絵の具流し場の安全で適切な扱い	・電動のこぎりの安全で適切な扱い	・電動のこぎり、金槌、くぎ、接着剤、ニスの安全で適切な扱い	・電動のこぎり、金槌、くぎ、接着剤、ニスの安全で適切な扱い		
	音楽					・楽器の扱い、運搬	・楽器の扱い方				・楽器の扱い、運搬			
	家庭科			・調理実習時の安全（包丁、コンロ）		・裁縫時の安全（針、ミシン）	・裁縫時の安全（針、ミシン）	・裁縫時の安全（針、ミシン）	・調理実習時の安全（包丁、コンロ）					
	体育	・運動場の安全確認 ・陸上運動時の安全	・集団演技・行動時の安全 ・陸上運動時の安全	・マット運動時の安全 ・ボール運動時の安全	・水泳時の安全	・水泳時の安全 ・走り高跳び運動時の安全	・ボール、陸上運動時の安全 ・保健「病気の予防」（たばこの害）	・ボール運動時の安全 ・保健「思春期の体の変化」	・ボール運動時の安全 ・保健	・とび箱運動時の安全 ・保健	・ボール運動時の安全 ・保健	・ボール運動時の安全		
	総合的な学習の時間	・『ぼくの街に地震が来た』災害安全	・生活安全	・たばこの害について	・情報安全学習（パソコンセキュリティー）									
	学級活動	・通学路の確認 ・安全な登下校 ・1年生のお世話 ・遠足時の安全	・地震時の安全 ・運動会時の安全 ・交通機関利用時の安全	・雨天時の事故とけが ・不審電話の対応	・自転車点検・整備 ・夏休みの事故と防止策 ・落雷の危険		・校庭や屋上で起る事故の防止 ・運動時の事故とけが	・全校遠足の安全 ・乗車時の事故とけが	・不審者への対応 ・火災防止	・冬休み中の事故とけが	・廊下の安全な歩行 ・安全な身支度 ・災害時への備え ・安全な身支度	・降雪時の安全 ・卒業遠足時の安全 ・暖房器具の安全な扱い	・1年間の反省 ・けがの種類と応急処置 ・春休みの安全	
安全指導	児童会活動	・1年生を迎える会 ・クラブ活動開始	・運動会のスローガン作り	・あいさつ標語作り	・子どもまつり準備 ・防犯ボスター	・防犯ボスター	・前期反省	・住区運動会	・ユニセフ募金 ・新潟がんばれ募金	・6年生を送る会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年生を迎える会	・6年生を送る会 ・1年間反省	
	主な学校行事	・始業式・入学式 ・健康診断 ・離任式 ・春の交通安全運動 ・避難訓練（火災）	・遠足・運動会 ・健康診断 ・家庭訪問 ・避難訓練（地域班編成集団下校）	・ブル前健康診断 ・着衣泳 ・避難訓練（地震・火災）	・道徳授業地区公開 ・夏季水泳指導 ・移動教室 ・避難訓練（地震・火災）	・夏季水泳指導	・子どもまつり ・防災フェスタ in 五本木 ・秋の交通安全運動 ・避難訓練（引取り）	・終業式・始業式 ・全校遠足 ・健康診断 ・薬物乱用キャラバン ・避難訓練（火災）	・避難訓練（地震・火災）	・学芸会 ・社会科見学 ・避難訓練（地震）	・がんばりマラソ ・健康調査 ・書き初め展 ・不審者侵入対応訓練 ・避難訓練（火災）	・雪まつり ・お別れ遠足 ・避難訓練（防火扇活用火災） ・避難訓練（火災）	・6年生を送る会 ・大そうじ ・卒業式 ・避難訓練（予告なし）	
	対人管理	・教職員、保護者の登校指導 ・一人で歩かざるをえない場所確認地図	・集团下校指導 ・地域安全マップの作製	・不審者対応訓練事前演習	・さすまた訓練 ・地図	・安全の講習会	・安全に関する実態調査	・教員の水泳、理科実験実技研修会						
安全管理	対物管理	・学校のきまり（通学路）の確認	・固定遊具の安全な使い方	・自転車の乗り方ルール・マナー	・夏季休業中の安全な遊び方やきまり	・安全な登下校の仕方	・電車、バスの安全な乗降の仕方	・安全な避難の仕方	・冬季休業前の生活指導	・災害時の安全な避難の仕方	・雪遊びの安全 ・凍結時の歩き方	・対人管理の評価と反省		
	対物管理	・校舎内の危険箇所の確認（安全点検）	・通学路の点検	・防犯用具の点検と整備	・学校環境の安全点検と整備	・夏季休業前の校舎内外の点検	・夏季休業中の校舎内外の点検	・校庭・屋上などの整備	・通学路の安全確認	・防災設備の点検と整備	・学校内の危険箇所の確認と整備	・防災用具の点検と整備	・学区内の安全施設の確認	・1年間の学校環境、安全点検の評価と反省
学校安全に関する組織活動		・毎週水曜日の生活指導朝会	・災害用伝言ダイヤル171の体験利用	・災害時徒步参集訓練	・五木本安全啓発ジャンパー着用	・わんわんパトロール	・登下校の見守り							
		・春の交通安全時の交通当番	・校外における児童の安全行動の把握と情報交換	・学校安全委員会	・国民安全の日（7月1日）	・「子ども110番の家」の訪問	・防災の日（9月1日）	・通学路の安全点検	・目黒中央中学区地区連絡協議会	・年末年始の交通安全の啓発	・防災とボランティアの日（1月17日）	・学校保健委員会	・地域交通安全パトロール	